東支鐵道哈爾賓營業所第八區案内

EAST-ASIAN LIB. UNIVERSITY OF TORONTO
3 1761 03090 8289

HE
3290
C6A53
1923

LIBRARY
APR 1 1976
UNIVERSITY OF TORONTO

一、發送ノ部

年度	大豆		豆粕		其他ノ穀物		建築用木材		鹽		豆油		合計
	布度	パーセント	布度	パーセント	布度	パーセント	布度	パーセント	布度	パーセント	布度	パーセント	布度
一九二〇	七八六、七五三	二、八〇	六三、〇七一	一〇、五〇	一、八二〇、七五五	八、八九	一七、八〇二	二、六一	一六、九六五	一、八四	七、三七九	一、〇七	二、七一二、七三五
一九二一	一五、八三三、八四五	五六、三三	四、一三三、二〇九	三八、七七	一三、三六一、一九一	六五、九四	四〇、九六五	四、七七	三二八、〇六〇	三六、五三	一七、七八九	一七、〇七	三三、八一三、〇五九
一九二二	一一、五二九、五六五	四〇、九七	六、四八八、五五一	六〇、七三	五、一〇四、二七三	二五、一七	六二六、七三六	九一、四二	五七〇、五〇四	六一、六三	五六四、八一〇	八一、八六	二四、八八七、四三九

二、到着ノ部

年度	石炭		鹽		穀物		薪木		石膏類		果實類		石材		合計
	布度	パーセント	布度	パーセント	布度	パーセント	布度	パーセント	布度	パーセント	布度	パーセント	布度	パーセント	布度
一九二〇	五〇六、五七八	四、四〇	一八五、五五四	四、三八	一七三、四七七	四、六二	三九、五五〇	一、七一	三、三三五	〇、二〇	六、四三三	〇、八三	三、九九〇	〇、四六	九一八、九〇六
一九二一	五、五三三、九一七	四七、九八	一、四六五、三五六	三四、五五	一、二五三、八五四	三三、三四	一、〇七九、八六七	四六、五一	六八八、二〇五	四一、四三	八三、六七三	一〇、八三	三〇一、六一三	三五、四九	一〇、三九六、四八四
一九二二	五、四八三、二九四	四七、六二	二、五九〇、三三二	六一、〇七	二、三三三、六四三	六二、〇五	一、二〇二、二一七	五一、七八	九六九、七〇三	五八、三七	六八二、七〇〇	八八、三四	五四四、四三八	六四、〇五	一三、八〇六、四二六
	一一、五二三、七八九	一〇〇	四、二四一、二四二	一〇〇	三、七六〇、九七四	一〇〇	二、三二一、六三四	一〇〇	一、六六一、四三三	一〇〇	七七三、八〇五	一〇〇	八五〇、〇四〇	一〇〇	二五、一二〇、八一六

附錄第四表

自一九二〇年至一九二二年三年間第八區ニ於ケル普通便扱重要營業貨物累計表

品目		パーセント		パーセント		パーセント
薬劑品	二一八	〇、〇二	二五、九六五	〇、二一	九五、九七四	〇五、七
鐵器類	九四二	〇、〇八	八六、五二五	〇、六六	五九、六三九	〇、三六
野菜類	―	―	四六、九二三	〇、三六	五七、〇五三	〇、三四
原鐵	一、六九九	〇、一五	四七、五八六	〇、五七	四、二三〇	〇、二六
黄並ニ製品	三、六八三	〇、三三	六七、四二九	〇、五二	三九、六五一	〇、二四
魚類	二、二三九	〇、二〇	一一、一九九	〇、〇九	三四、七七一	〇、二一
紙、ボール紙	三、〇二九	〇、二七	二〇、五四八	〇、一六	二六、九七一	〇、一六
粘土	七、五九三	〇、六七	二一、六四一	〇、一七	二四、六七七	〇、一四
木製品	一、三三一	〇、一二	四、六九四	〇、〇四	一四、一三四	〇、〇八
器械類（農具ヲ除ク）	―	―	一三、〇七〇	〇、〇九	八、三八二	〇、〇五
毛皮類	二、一〇一	〇、一九	八、六三七	〇、〇七	一、二九二	〇、〇一
其他貨物	一二四、五〇二	一一、〇五	一、一三八、八三三	八、六四	一、四八六、六五九	八、九一
	一、一三七、五六五	100	一八、〇六〇、五三七	100	一六、七二三、六二四	100

一、到着ノ部

貨物名稱	一九二〇年 布度	一九二〇年 パーセント	一九二一年 布度	一九二一年 パーセント	一九二二年 布度	一九二二年 パーセント
石炭	五〇六、五七八	四四、九一	五、五三三、九一七	四二、二八	五、四八三、二九四	三二、八二
鹽	一八五、五五四	一六、四六	四六五、三五六	一一、三三	二、五九〇、二三二	一五、五〇
穀物	一七三、四七七	一五、三八	一、二五三、八五四	九、六〇	二、三三三、六四三	一三、九六
薪木	三九、五五〇	三、五一	一、〇七九、八六七	八、二七	一、二〇二、二一七	七、一九
石膏類	三、三三五	〇、三〇	六八八、二〇六	五、二三	九六九、九〇二	五、八〇
果實	六、四三三	〇、五七	八三、六七三	〇、六四	六八二、七〇〇	四、〇九
礦石	三、九九〇	〇、三五	三〇一、六一三	二、三三	五四四、四三八	三、二五
麻袋	三三、七〇六	二、九九	四七〇、〇九七	三、六〇	二八二、四六七	一、六九
砂糖	三、九三八	〇、三五	一七七、五〇二	一、三六	一六五、六九五	〇、九九
織物	一三、八七五	一、一四	一七五、三六四	一、三五	一三八、三六八	〇、七七
米	二、三一四	〇、二一	一三七、五四三	〇、九〇	一二〇、八三三	〇、七二
綿花類	七、六九二	〇、六八	九九、九〇〇	〇、七七	一一五、一九六	〇、六九
建築用木材	—	—	七六、一八六	〇、五八	一〇四、〇二二	〇、六二
綠茶磚茶	八〇九	〇、〇七	二八、四五九	〇、二二	九六、一八五	〇、五八

豆粕	六三、〇七一	二、二七	四、一三三、二〇九	一三、〇八	六、四八八、五五一	二五、一三
其他穀物	一、八二〇、七五五	六五、四八	一三、三六一、一九一	三九、〇六	五、一〇九、二七三	一九、八六
建築用木材	一七、八〇三	〇、六四	四〇、九六五	〇、一三	六三六、七三六	二、四四
鹽	一六、六九五	〇、六一	三三八、〇六〇	〇、九九	五七〇、五〇四	二、二三
豆油	七、三七九	〇、二七	一一七、七八九	〇、三四	五五四、八一〇	二、一九
麻袋	四〇、四一九	一、四五	二〇五、七八九	〇、六〇	二九七、一六六	一、一六
石炭	—	—	一四、一七四	〇、〇四	一二一、八二三	〇、四八
砂糖類	一、五〇八	〇、〇五	一五、〇九二	〇、〇五	五六、三〇八	〇、二三
果實野菜	二、一八九	〇、〇八	一八、八八三	〇、〇六	三七、八四五	〇、一四
織物類	九九二	〇、〇三	一一、四九三	〇、〇三	二〇、四〇四	〇、〇七
魚類	二一三	〇、〇一	七、二八二	〇、〇二	八、二八五	〇、〇三
銑鐵類	一、九〇三	〇、〇七	三、九三一	〇、〇一	六、五七六	〇、〇三
煙草其他製品	一、七七八	〇、〇六	四、六一八	〇、〇一	五、七九五	〇、〇二
毛皮類	二、〇九九	〇、〇八	二、八一三	〇、〇一	二、六〇一	〇、〇一
其他貨物	一七、八一九	〇、九四	一〇八、九〇〇	〇、三一	二七四、八八一	〇、〇八
	二、七八一、八八四	100パーセント	三四、三〇六、〇三三	100パーセント	二五、七三二、一一三	100パーセント

附錄第二表

自一九二〇年至一九二二年第八區ニ於ケル普通便扱商業貨物各年別數量表

年度	全貨物ノ取扱高		發送		到着	
	布度	パーセント	布度	パーセント	布度	パーセント
一九二〇	三、九〇九、二四九	四、一七	二、七八一、五八四	四、四八	一、一二七、五六五	三、六五
一九二一	四七、二六六、五七〇	五〇、四九	三四、二〇六、〇三三	五四、六九	一三、〇六〇、五三七	四二、二六
一九二二	四二、四三三、七四六	四五、三四	二五、七二一、一二三	四〇、八八	一六、七一三、六二四	五四、〇九
	九三、六〇九、四〇五	100	六二、七〇八、七三九	100	三〇、九〇〇、七二六	100

附錄第三表

自一九二〇年至一九二二年便第八區ニ於ケル普通便扱營業貨物數量重要品名別表

一、發送ノ部

貨物名稱	一九二〇年		一九二一年		一九二二年	
	布度	パーセント	布度	パーセント	布度	パーセント
大豆	七八六、七五三	二八、二八	一五、八二三、八四五	四六、二六	二一、五二九、五六五	四四、八三

附錄第一表

自一九二〇至一九二三年第八區ニ於ケル普通便扱商業貨物取扱高ノ東支全線ニ對スル比較（單位布度）

一、發着合計ノ部

年度	東支全線ニ於ケル貨物ノ出廻數	東支八區ニ於ケル貨物ノ出廻數	東支全線ト八區トノ比パーセント
一九二〇	一八、九五〇、六六三	三、九〇九、一四九	二一、三〇
一九二一	一五一、一九七、五三〇	四七、二六六、五七〇	三一、二七
一九二三	一九五、二八三、七九〇	四二、四四三、七四六	二一、七六

二、發送ノ部

年度	東支全線ニ於ケル貨物ノ出廻數	東支八區ニ於ケル貨物ノ出廻數	東支全線ト八區トノ比パーセント
一九二〇	七九、九三〇、七二四	二、七八一、五八四	三、四八
一九二一	一〇三、九一六、五六八	三四、三〇六、六三三	三三、三〇
一九二三	一二九、〇三六、七一二	二五、七二一、一三三	二〇、〇〇

三、到着ノ部

年度	東支全線ニ於ケル貨物ノ出廻數	東支八區ニ於ケル貨物ノ出廻數	東支全線ト八區トノ比パーセント
一九二〇	三九、〇一九、九三九	一、一三七、五六五	二、九七
一九二一	四五、三八一、〇〇三	一三、〇六〇、五三七	二八、八五
一九二三	六六、三五七、〇六九	一六、七一二、六六四	二五、二三

官營倉庫穀類乾燥工場精米所

同　同　倉庫　同　一六坪（露）

精米所建物（鐵板葺煉瓦建）一棟　一二坪（露）

右の建物に對しては皆保險に附しあり

東支鐵道哈爾賓營業所第八區案內（終）

使用人一人年給金千二百元なり

建　物

鐵屋根煉瓦建家屋	一棟	三十坪(露)
木造物置	同	六坪(同)
木造穀物乾燥庫		六十坪(同)

一一八、東阜號貨棧

八區第一〇五號地　面積　三〇〇坪(露)

營業科目　雜貨穀物倉庫並精米業

一九二〇年より倉庫主『チヤヲ、チ』氏八區を借地せり

營精米業は絕へず行はるゝに非ずして米の需要及原料の持合せ如何に依つて行はる。

米は主として梅林、窰門驛等より購入す、十二馬力の蒸氣發動機による精米機は一日石炭四十布度、塗油十斤、ボロ屑二斤を要す、其際三個の精米臼は百布度の玄米より六十布度の精米を白げる。

其見本は哈爾賓營業所に在り、穀物出盛期間にこの商會の取扱高は三萬ー四萬布度の僅少に留る

使用人六名(年給金二、四〇〇元)苦力十名(年給金使用人と同樣)を使ふ

建　物

鐵板葺煉瓦建家屋	一棟	二八坪(露)

一一六、黒龍江官鹽專銷處

八區第八二―八三號地　　面積　　二三七六、六〇坪（露）

一九〇七年に八區を借地し「ス、イ、チユソ」氏經理たり平均一ヶ年を通じて南滿、烏鐵より搬入する數約三百萬布度（鹽）にして主として當地賣捌き又極僅少部分は（約七十萬布度）は陸輸送にして東支沿線に發送せらる

鹽の買込の主なる市場は營口、蓋平、「フージョ」等にして一擔の鹽（重量一三―一四布度）の價格は一元を越へず哈爾賓に於て賣却ちるゝ鹽（粗鹽）は一布度一元五十仙にて精鹽は二元十仙位の相場なり。

倉庫の使用人二十名護衛兵二十八名苦力六十名を使用し一ヶ年の給額三萬六千元に達す

建　物

木造建倉庫建坪　　一二三〇坪（露）　　二棟

木造建家屋同　　一五五坪（露）　　七棟

鐵屋根煉瓦建二階造家屋六〇坪（露）　　一棟

一一七、華俄公司

八區第卅一號地　　面積　　一、九七〇、〇四坪（露）

營業科目　　穀物倉庫竝穀物乾燥業

原動力二十馬力の汽鑵を据へ消耗材料一日石炭八〇布度又は薪木一『クボ』を要して穀物千布度を乾燥す、最近一ヶ年は倉庫も穀物乾燥業も中止し居るか原因は不明なり

建物に對しては四萬元の保險を附しあり

消耗品の中石炭は撫順炭を其他の材料は當地にて大豆は哈爾賓附近の村落より購入し製産品は外國へ輸出す

第八章　官墟倉庫穀類乾燥工場精米所

一一五、吉黒榷運總倉

八區第十四―五號地　　面積　　一千坪（露）

營業科目　　鹽の製精業

一九一四年より八區を借地し趙利長氏を委員長とする審査委員會が同倉庫内にあり

鹽の製精は釜にて鹽を煮る方法によるか目下釜は約四十個据付けあり鹽を煮て而して粉末として篩に掛けて篩ふ墟の製精料は一擔三〇〇銀即ち一〇布度一元九十五仙を要し一ヶ年を通じて製精數は不明なり尚製鹽のために要する薪木は平均一ヶ年を通じて五千「クボ」に達し薪木は主として東支鐵道の東部線に一部分を當地市場にて購入す

同倉庫には使用人十四名（年給金一ヶ年を通じて一萬二千六百元）あり

建物としては木造家屋（鐵板葺）　　三二一坪（露）

三棟　煉瓦建家屋（同）　　四八坪（同）

二棟　木造建倉庫（鐵板葺）　　三七五坪（同）

同　（倉庫）　七二坪（同）

鐵製豆油貯藏所　容量六千布度

石炭は之を當地にて大豆は黑龍江省に求め豆油、豆粕は外國へ賣捌く

一一三、同發隆油房

八區第一一〇號地　面積　一一九、九三坪（露）

營業科目　製油工場

一九一五年に八區を三商會合同にて借地せり一日の製産能力穀物二千二百布度中より豆油二百二十布度豆粕二千百布度即ち千二百枚を搾出す

壓搾器六十臺を有し手押式、水壓式の兩樣よりなり原動力四十馬力の汽罐を据付け一日の全作業に要する消耗品は石炭一五〇布度、塗油一布度二〇斤、糸屑二十斤を費消す建物の屋内外の點燈には發電所を有して一〇〇燈を供給す

同工場の平均一ヶ年を通しての開業月數は六ヶ月にして使用人二十五名（年給金一萬三千元）と苦力の作業賃金年額一萬六千元を支拂ふ

建物鐵板葺煉瓦建　（工場）　一一三坪（露）

同　（家屋）　四〇、五坪（同）

同　木造建　（倉車）　一五〇坪（同）

鐵製豆油貯藏所　容量一萬五千布度

鐵製豆油貯藏所　　容量一萬布度

保險會社三井物產「レン、ボアウ」公司に八萬五千元を建物家屋に附しあり

石炭は之を撫順に他の材料は當地にて大豆は黑龍江省に一部分は當地に需め製產品は之を外國へ輸出す

一一二、永和盛油房

八區第一二四號地　　面積五〇〇坪(露)

營業科目　　製油工場

一九二〇年に八區を借地し製油を業とし一日の製產能力穀物二千七百布度の中より豆油二八〇布度豆粕二千六百布度即ち一千五百枚を搾出す

厭搾器五十六臺を有し手押式水壓式の二樣よりなり原動力十八馬力の汽鑵を据へ一日の全作業に要する消耗品は石炭一五〇布度塗油二〇斤糸屑三十斤を費消す

點燈としては石油發動機による發電所を有し三十二燈ヲ供給す夜の點燈に要する石油は三十斤なり

平均一ヶ年の開業月數は六ヶ月にして使用人四名(年給金一千元)と苦力作業賃金一萬二千元を支拂ふ

建物

鐵板葺煉瓦建	(工場)	二二坪(露)
鐵板葺煉瓦建二階造り	(家屋)	三三坪(露)
同　木造建	(同)	一二坪(同)

十二、盛泰油房

八區第一一二號　面積　七七一坪(露)

營業科目　製油工場

一九一三年に八區を借地し工場主は(遲克讓)氏なり豆油の製造を業とし一日の製産能力穀物二千布度の中より約一千枚の豆油を搾出す

壓搾器七十五臺を有し手押式水壓式の両樣より成り原動力二四馬力三十二馬力の二汽罐を据付く一日の全作業に要する消耗品は平均石炭二三五布度塗油五布度糸屑二布度を消費す

夜間の點燈用としては建物の屋内外として石油發動機裝置の(石油の消耗一夜に一布度十四斤)著電所を有し六五燈を供給す

使用人は二十名(年給金七千元)苦力の作業賃金一萬八千元を支拂ふ

建物

鐵板葺煉瓦建　(工場、機械室)　八五坪(露)

同　(家屋)

一〇二坪(同)

同　木造建　(同)

同　煉瓦建　(倉庫)

九〇坪(同)

同　木造建　(同)

一九二〇年に八區を借地せり一日の製產能力穀物三千二百布度にして中豆油二九〇布度豆粕二五八〇布度即ち千四百五十枚を搾出す

壓搾器二十四臺を有し水壓式にして原動力四十二馬力の汽鑵を有す一日の全作業に要する消耗品は石炭三〇〇布度塗油一布度糸屑二十斤を使用す建物の屋內外の點燈用としては發電所を裝置して五十五燈を供給す（但し着電所には石油着動機を据へ十二時間點燈に對し石油十二フントを要す）

平均一ケ年間を通じての開業月數は五ケ月にして使用人は一九二三年一月一日より八名を雇傭す（但し無報酬）同工場は營業困難の爲目下縮少せり

建　物

煉瓦建二階造　（工場）

煉瓦建二階造　（家屋）

同　（同）

右建物の軒下

鐵板葺木造建　（倉庫）

鐵製豆油貯藏所　容量　九千布度

消耗品の中石炭は撫順炭を他の原料其他は當地にて製產品は外國へ輸出す

營業科目　製油工場

一九二三年に八區を借地し一日の製產能力穀物二千布度の中より豆油一九五布度豆粕一、八〇〇布度（一、一二〇枚）を搾出す

壓搾器八〇臺を有し手押式水壓式の兩樣にして三十六馬力の原動力汽罐を据付け一日の全作業に要する消耗品は石炭一五〇布度塗油一、五布度糸屑三十斤なり

電燈は市內電燈より供給を受く

平均一ケ年の開業月數は四ケ月にして使用人二十五名（年給金一萬元）と苦力の作業賃金九千元なり

建物

鐵板葺煉瓦建		（工場）	六七、五〇坪（露）
同	二附造	（家屋）	六〇坪（同）
同		（同）	三〇坪（同）

右建物の軒下に鐵製豆油貯藏庫容量一萬布度

保險　右の建物は保險會社に十萬元を附しあり

消耗品の中石炭は之を撫順炭を他の消耗品は當地に大豆は安達齊々哈爾より購入し製產品は之を外國へ輸出す

一一〇、東濟油房

八區第一〇八號地　面積　八〇〇坪（露）

粕一八五〇布度搾製す但つ同油房の經理の言ふ所に據れば豆油製産は大豆の質の如何によりて一五〇乃至二〇〇布度の間を上下することありと

壓搾器七六臺を有し手押式なれども穀物壓搾する下拵ひをするためには二十四馬力の蒸氣原動機を用ふこれがため要する消耗品は一日全作業の場合石炭一五〇布度塗油二布度糸屑三十斤を要す平均一ヶ年間を通じての開業月數は七ヶ月にして使用人二十名(年給金六千元)と苦力の作業賃金は年額二萬五千元を支拂ふ

建　物

鐵板葺煉瓦建	（工　場）	八五坪(露)
同	（機械室）	二一坪(同)
鐵板葺木造建二棟	（家　屋）	七〇坪(同)
鐵板葺木造建二棟	（倉　庫）	一二〇坪(同)
鐵製豆油貯藏庫		一萬二千布度(容量)

保險　建物には保險公司『大估』へ一萬二千元を附す

消耗品の中石炭は撫順炭を其他材料並原料大豆は常地にて購入し豆油豆粕は當地にて賣捌き小部分は南滿鐵道に發送す

一〇九、豐盛恒油房

八區第一一九號　面積　八二五坪(露)

一〇七、久大油房

八區第九九號地　面積　八七六、一五坪(露)

營業科目　製油工塲

一九一八年に八區借地したれとも過去三ヶ年間は休業中なり主なる理由は經營者が有力なる官吏なる爲め常に北京に居住し又多忙なる國政に從事してる爲め已の注意を事業に向ける事が出來ず又製油業管理に適當な幹部や從業員を集める事が出來ない爲である。昨年は同油房は二ヶ月たけ開業せり

建物

鐵屋根煉瓦建	(工場、機械室)	七二、八〇坪(露)
鐵屋根木造建	(家屋)	一八坪(露)
同　煉瓦建	(同)	三〇坪(同)
同　同　二階造	(同)	八二、五坪(同)
鐵製豆油貯藏庫		三萬布度(容量)

一〇八、元孚油房

八區第十七號　面積　八八二、七二坪(露)

營業科目　製油工場

一九一五年に錢成瑞氏借地せり工場は豆油の製造を業とし一日の製産能力穀物二千布度の中より豆油一九〇布度と豆

一〇六、成發祥油房

八區第一一三號地　面積　一、〇〇〇坪（露）

一九二一年に八區を借地し一日の生産能力穀物（大豆）三千布度の中約三百布度は豆油を二九〇〇布度は豆粕（一七〇〇枚）を産出す

壓搾器八〇臺（手押式、水壓式兩樣）を有し原動力四五馬力の汽罐を据付け一日の全作業に要する消耗品は石炭二三〇布度塗油一布度十斤糸屑二十斤を費消す建物家屋の内外の點燈としては發電所の裝置ありて七〇燈の電燈を供給す平均一ケ年を通じての開業月數は七ケ月なり

同油房の使用人二十五名（年給金一萬元）と苦力の作業賃金約二萬元を支拂ふ

建　物

煉瓦建二階造	（工場並に機械室）	二四〇坪（露）
鐵板葺煉瓦建	（家屋）	七五坪（同）
同　木造建		
鐵板葺煉瓦建	（倉庫）	二〇〇坪（同）
鐵製豆油貯藏所		七千布度（容量）

保險　三井物産會社に十萬元の保險に附しあり

一石炭は撫順炭を其他の原料は他は當地市場にて購入し製産品は外國へ輸出す

八區第二一六號地　　面積　　一千坪(露)

營業科目　　製油工場

一九一五年に八區を借地し本店を山東省芝罘に置けり製豆油業とし一日の製産能力穀物(大豆)三千布度中豆油二八〇布度豆粕二八〇〇布度(一六〇〇枚)を製搾す

壓搾器八〇臺を有し手搾式水壓式の二様より成り原動力四二馬力の汽鑵を据付け一日全作業に要する消耗品は石炭二二、〇布度塗油一布度半糸屑一布度を費消す建物家屋の内外の點燈としては發電所の裝置ありて二五〇燈を供給す

平均一ヶ年を通じての開業月數は八ヶ月にして使用人十八名(年給金一萬四千元)と苦力の作業賃金年額二萬三千元を支拂ふ

建物

鐵板葺煉瓦建	(工場)	一四〇坪(露)
同	(家屋)	九九坪(同)
右建物の庇		六五坪(同)
鐵板葺木造建	(倉庫)	五、五五五坪(同)
鐵製豆油貯藏所		二萬布度(容量)

保險　二三保險會社に十萬元の保險を附しあり

石炭其他機械材料及原料は之を當地に求め製産品は之を外國向け輸出す

八區第一一八號地　　面積　　一千坪（露）

營業科目　　製油工場

一九一四年に八區を借地し一日の製産能力穀物（大豆）二千布度中豆油一九五布度と豆粕千八百布度（一一二〇枚）を搾製す

壓搾器七十臺（水壓式、手壓式の兩樣）を有し原動力百馬力汽罐を据付け一日の全作業に要する消耗品は石炭百布度塗油二十斤糸屑十斤を費消す建物家屋の內外の點燈として發電所を据付け四十燈を供給す平均一ヶ年の開業月數は六ヶ月にして使用人二十名（年給金八千元）と苦力の作業賃金金額九千元を支拂ふ

建物

鐵板葺煉瓦建	（機械場並工場）	九〇坪（露）
同　同	（二階造家屋）	九〇坪（同）
同　同	（家屋二棟）	八八坪（同）
木造建	（倉庫二棟）	一三五坪（同）
鐵製豆油貯藏庫		一萬二千布度（容量）

保險　洋五萬元を二三保險會社に附しあり

消耗品、石炭等は當地にて購入し豆油、粕は之を外國へ輸出す

一〇五、義昌信油房

營業科目　製油工場

一九一六年に八區を借地せり豆油の製出を業とし一日の製產能力穀物（大豆）二千五百布度に達し三百布度の豆油と豆粕二千三百布度を搾製す

壓搾器八十四臺を備へ三六馬力の原動力の汽罐を据へ一日作業に要する消耗材料は石炭四百布度 塗油一布度半 糸屑二十斤を費消す

平均一ケ年を通して開業月數は六ケ月にして使用人三〇名（年給金九千元）と作業に要する苦力の賃金は年額一萬元に達す

建　物

鐵板葺煉瓦建	（工場）	七七坪（露）
同	（家屋）	八八坪（同）
同　木造建	（倉庫）	二一〇坪（同）
豆油貯藏庫		八千布度（容量）

保險　建物に對しては十萬元の保險を附しあり

消耗品の中石炭の供給は撫順炭を其他の消耗品は哈爾賓に求め製產品の中豆粕は外國即ち日本へ輸出され豆油は歐洲向として輸出さる

一〇四、恒隆德油房

豆油貯藏庫　　六千布度(容量)

一〇二、公來油房

八區第廿號地　面積　一二二四、八〇坪(露)

營業科目　製油工場

一九一六年より八區を借地し營業せり大豆油を製造す一日の製産能力穀物二千布度に達し豆油二百五十布度と豆粕千八百五十布度を搾製す、壓搾器七十臺を据へ原動力二十六馬力の汽罐を有し一日の作業に要する材料の石炭二百布度塗油一布度糸屑二十斤を費消す平均一ヶ年開業月數は四ヶ月以下にして使用人十五名(年給金三千元)と苦力に支拂ふ金額年八千元に達す

建物

鐵板葺煉瓦建　一棟　七五坪(露)

同　(家屋)　六〇坪(同)

同　木造建　(倉庫)二棟　一五〇坪(同)

鐵製豆油貯藏庫　一萬五千布度入れ

保險　建物に對しては四萬五千元を附せり

一〇三、同聚祥油房

八區第廿一號地　面積　一千二百坪(露)

右建物の軒下　一八坪（露）
豆油貯藏庫　二萬五千布度（容量）

保險　建物は金星公司に十萬元を附しあり
石炭は撫順に其他原料は當地に仰ぎ產出品は外國へ輸出す

一〇一、裕大油房

八區第九八九七號地　面積　一九九七、九二坪（露）
營業科目　製油工場

一九一二年より八區を借地し一日の製產能力穀物三千布度中豆油二九〇布度豆粕三、一五〇布度即ち一千八百枚を搾製す壓搾器三十臺は水壓式にして原動力四八馬力なり一日の全作業に要する材料は石炭二百五十布度　塗油三布度糸屑一布度なり建物及屋外の點燈は特殊石油發動機による發電所を有し六十五燈を供給す
平均一ケ年を通しての營業日數は七ケ月にして使用人四十名（年給金二萬四千元）苦力の作業料としての年に支拂ふ額は一萬三千元に達す

建物

鐵板葺煉瓦建		（工場）	八一、二五坪（露）
同	二棟	（家屋）	九〇、五〇坪（同）
同	木造建	（倉庫）	六七、五〇坪（同）

木造建倉庫　　五〇坪(同)

豆油貯藏所　（二個）　二萬四千布度(容量)

石炭は之を撫順炭を他の材料は當地にて製產品は之を外國へ輸出す

一〇〇、豐泰億

八區第一二二號、一三三號地　　面積　二千坪(露)

營業科目　　油房工場

一九一五年に八區を借地せり工場主を「王衡三」と言ひ一日の製產能力穀物(大豆)三千九百布度中より豆油三五〇布度と豆粕三千五百布度即ち二千枚を搾製す壓搾器百臺は手搾りと水壓との二樣にして原動力一二〇馬力と四〇馬力の汽罐を据付けあり一日の全作業に要する材料は石炭二〇〇布度塗油一五布度糸屑一布度なり、建物屋內外點燈用として自用發電所を設け一二〇燈を供給す平均一ヶ年を通じての開業月數は約五ヶ月にして使用人三〇名（年給金三萬六千元）苦力の作業賃金は年額二萬七千元に達す

建物

鐵板葺煉瓦建		工場(機械場付)	一二〇坪(露)
鐵板葺 煉瓦建	四棟	家屋	一六八坪(露)
鐵板葺 木造建	一棟		
鐵板葺木造建		倉庫	二四七、五〇坪(露)

鐵板葺木造建　二棟　（倉庫）　建坪　一八一坪（露）

保險　各保險會社に三十五萬元を附しあり

材料の購入の中石炭は之を撫順炭を其の他の材料は當地にてなす

製品は南滿鐵道沿線地方の市場へ六六パーセント殘り三三パーセントは當地市場へ賣捌く

第七章　製油工業

九九、裕源油房

八區第一三五號地　面積　一、六〇二、九八坪（露坪）

營業科目　油房工場

一九一六年に八區を借地せり營業は製油業をなし一日の作業に要する大豆は五千布度に達し約四七〇布度の豆油と四七七〇布度（即ち二七七五枚）の豆粕壓搾器は一二〇臺（手搾、水壓の兩樣）を有し一二〇馬力の原動力を据付け一晝夜の全作業に要する石炭四五〇布度塗油三布度糸屑一布度を費消す屋内外の點燈は二〇〇を供給する發電所を有す

同工場の平均作業月數は六ケ月にして倉庫の使用人三〇名（年給金一萬二千元）又苦力の作業賃金は年額二萬元に達す

建　物

鐵板葺煉瓦建　（工場）　三三三坪（露）

同　三階造り　（家屋）　一四〇坪（露）

亞鉛板構へ建物	（同　）		八四坪（同）

保險　保險會社「レン、ボアウ」「チエン、ジイ」公司に二十萬元を附せり

同火磨公司は燃料は之を撫順炭を他の材料は之を當地に於て購入し尚小麥は主として黑龍江省側に求め製品は之を奉天、撫順、營口其他滿洲里に至る各驛に賣捌く

九八、義昌泰火磨

八區第一一七號地　面積　一〇〇〇沙申坪

營業科目　蒸氣による製粉業

八區の借地は一九一六年より之を開始せり製粉場にては精製麥粉のみの製造をなす平均一ヶ年を通じて六ヶ月を出です一日の製産能力は三千布度に達し二千二百布度即ち七三パーセントの精製麥粉を産出す轉動十二機を据付け之か原動力は一四〇馬力あり一日の全作業に要する消耗品は石炭四九〇布度塗油三布度糸屑一布度を要す屋の内外用點燈は三〇〇燈ありて發電機を備付けあり使用人は三十四名（年給金八千五百元）と苦力の賃金一ヶ年約一萬元を支拂ふ

八區に於ける建物

煉瓦建五階造り	（工場）	建坪	四八〇坪（露）
鐵板葺煉瓦建二階造り	（家屋）	同	一一〇坪（露）
瓦葺煉瓦建家屋　二棟	（同　）	同	四一坪（同）
鐵板葺煉瓦建三階造り	（倉庫）	同	一八九、七五坪（露）

同商會は自家に要する石炭をウーゴリナヤより購入し他の原料を當地に求む

生産品は當地方ザバイガル及奉天へ出す同品は『ドラゴン』印の下に特に名聲を博しつゝある

九七、廣信火磨

八區第一三二號地　面積　一〇八一、二五坪（沙申）

營業科目　蒸氣力による製粉工場

八區に於ける借地は一九一九年になせり同製粉場にては目下精製小麥粉の製産のみにして平均一ヶ年を通して八ヶ月開業す一日の製産能力穀物千四百布度、製粉高九百布度即ち六五パーセントの精製麥粉を製す 原動力一四〇馬力を以て轉動機十二を据付く一日の全作業に要する消耗品としては石炭二八〇布度塗油三布度糸屑一布度にして尚點燈用電燈は屋内外一二〇燈を發電機を据付けて供給す

使用人四十名（年給金二萬元）と苦力の使用額も亦同額の支出をなす

建物

亞鉛板構へ建物九階建	（製粉場）		二一〇坪（露）
鐵板葺煉瓦建	（汽罐室）		一五坪（同）
同	（家屋）	三棟	一七〇坪（同）
鐵板葺木造建	（家屋）		二二坪（同）
同　同	（倉庫）		八四坪（同）

一日の作業に要する燃料は石炭九〇〇布度以上にして塗料並糸屑一布度を費消す

同所點燈は四千燈を供給するを得べく發電所の備へあり

使用人五五名（年給金五萬一千元）あり目下二人の支配人ありて年俸一五、〇〇〇元（内輪に見て）以上を採る苦力の賃金としては貨物一千布度の積卸作業に洋三元を支拂ふ

建物

製粉場	五階煉瓦建鐵板葺	建坪	七三三、二坪（露）
倉庫	二階煉瓦建鐵板葺	同	四四〇坪（同）
汽罐室器械室	鐵板葺煉瓦建	同	六三坪（同）
倉庫	亞鉛構ひ	同	一七〇坪（同）
家屋	三階鐵板葺煉瓦建	同	一六一坪（同）
同	二階同	同	五六坪（同）
同	增築	同	三〇坪（同）
同	鐵板葺	同	三〇坪（同）
鍛冶場	同	同	一二坪（同）

保險　「クレマンタスキ」『露亞銀行』へ五十二萬元を附す

この事業團體の防火設置は非常に完全なるもので庭から建物から隅なく水道消火栓を裝置し立派な消防用車馬を有す

使用人四十名（年給金二萬四千元）と苦力の給金年三萬六千元に達す

建物　五階建鐵板葺　（製粉場）

鐵板葺三階建煉瓦構造　（家屋）

鐵板葺煉瓦建　（汽罐室）

亞鉛葺倉庫　二棟

鐵葺煉瓦家屋　三棟

保險　保險會社に七十五萬元を附しあり

同公司は燃料を烏吉密驛に他の材料並他買付は當地市場に製産品は輸出品として『エ』埠頭に又南滿沿線地方ザパイカル地方及當地の市場に賣出す

九六、萬福廣火磨

八區第九號地　面積　一七三〇坪

露蒸氣力による製粉工場

八區の借地は一九一六年よりなせり

同製粉工場にては各種の製粉並挽割麥粉の類を製產す平均一ケ年を通じて開業月數は十ケ月にして一日の製產能力は穀物五千布度挽割麥粉磨率九八パーセント精製麥粉七二パーセントを製す

轉動機十二を備へ原動力二二五馬力の二個の汽罐を据付け五〇と一〇馬力の補助エンジンを有す

備付器械としては轉動機十六を裝置し百八十馬力二個の汽鑵を備へ一日全作業に要する石炭八〇〇布度、塗油五布度、糸屑一布度半を消費す而して點燈一三〇燈分の發電所を要す

同公司の使用人は二四人にして年給金二萬四千圓苦力に支拂ふ年給金約二萬圓に達す

建　物

四階建煉瓦建	（製粉工場）	建坪	二四八露坪
鐵板葺煉瓦建	（二　棟）	同	七五露坪
鐵板葺煉瓦建	（倉　庫）	同	二六一、五五露坪

九五、東興火磨

八區第八十六號　面積　二千露坪

營業科目　蒸氣汽鑵による製粉場

八區の借地は之を一九一九年より始めたり

商會主は姜軼庵氏、支配人はヌニィ、ジイ、ツユ氏なり

一九二〇年七月一日の開業にして各種製粉をなし平均一ヶ年の開業日數は十ヶ月にして一日の製產能力は穀物五千五百布度にして精製小麥粉七〇パーセント又は九七パーセントの挽割麥粉（皺を含む）を製す原動力二五〇馬力の汽鑵を据付け十二轉動機を備ふ一日の全作業に要する燃料は薪木四沙申塗油四布度糸屑一布度點燈用電燈はこれを市の電燈より供給を受く

三、同　同　（穀物乾燥器）同　三七露坪
四、同　（鍛冶場）同　五露坪
五、同　（乾燥場）同　九露坪
六、亞鉛葺　同　（倉庫）　九〇〇露坪
　二階建鐵板葺煉瓦建　（油房工場）　八〇露坪
　豆油貯藏所二萬布度　（容量）

保險は「アメリカンスキー、メジドナロードヌイ、カルボラツィ」公司に三十五萬元を附す

同商會の石炭は札頼諾爾より供給し小麥、大麥はこれを哈爾賓市場並松花江沿域に求めその製產品は之れを「麥粉」は哈爾賓、サバイカル地方、滿鐵沿線に「豆粕」並「豆油」は外國向として賣付けらる

一九二二年に於ける同商會の八區よりの發送高は豆粕七十萬豆油三十萬布度を發送せり

九四、滿洲製粉公司

　八區第八號地　面積　一、三五一、七四露坪
　營業科目　蒸氣機關による製粉業

一九一六年より八區を借地せり

製粉工場にては精製麥粉の製造をナす、平均一ヶ年を通じて營業月數は約八ヶ月なり、一日の生產能力穀物六五〇〇布度を要し四千六百布度の麥粉（約七一パーセント）を製出す

九三、「ソースキン」商會

八區第十、十一號地　　面積　　二六六〇沙申坪

營業科目　　蒸氣機鑵による製粉並油房工場

八區の工場は一九二一年「カサトキン」商會より同商會の手に移れり、製粉場にては精粉麥粉、及挽割麥の製出をなし一日の製產は穀物三千布度に達し而してこれより二千百布度又は七〇パーセントの精製麥粉を製出す、同製粉場は一ヶ年に十一ヶ月間活動す、開業月數は油房工場では大豆油の製造を爲す、一日の製產能力は穀物二千布度よりして豆油二百布度豆粕千九百布度を製出す、平均一ヶ月間の同油房の作業日數は九ヶ月なり

製粉場の九轉動機と油房工場の十八壓搾機を運轉するために二百五十馬力の蒸氣エンジンを据付け燃料（石炭）六百布度と鑛油（器械塗料）材料二十斤と糸屑十五斤を一日に要す、建物の屋內外に於ける點燈としては電燈五百燈を點することを得る發電所を備ひその動力は前述のエンジンなり

使用人三十三名（年給金五萬七千元）と苦力六十七名を使ふ

建物

一、鐵板葺瓦建五階（製粉工場）　　建坪　　一五〇、八〇露坪

二、同　　同　　（機械室）　　同　　四〇露坪

右の建坪の軒下野積置場坪數　一二五露坪

保險　貨物(在庫)竝建物に對しては保險公司「チエン、シ」「ヤン、チン」「グンバウ」「レン、バウ」等に十八萬元を附しあり

八區に於ける營業は一九一三年より經理「田峻峰」氏之を開業す

同倉庫使用人五六名(年給金一萬四千元)苦力三十三名(年給金一萬元)なり

九〇、活盛永貨廠

營業科目　一般貨物並織物用染料、倉庋業

平均一ヶ年に上海、營口より常地市場卸しのもの約二萬布度を搬入す

倉庋建物は之を「ワン、ファ、イ」貸與せり、貨物には保險なし

同倉庫の經營者「チャン、シャン、シン」は一九一六年より開業せり

使用人四名(年給金四百元)なり

九一、義興元

八區第一二號地　面積　一五〇露坪

在庫貨物なし

建物　木造建倉庫　建坪　三六露坪

九二、興順北貨廠

八區第三號　面積　二七〇露坪

同　一階　同　一棟

同　木造建倉庫　一棟　建坪　五〇露坪

而して八區は一四一四年より「新大」外四名にて貸與せり

使用人四十名苦力三十名（年給金二萬五千元なり）

手數料一般貨物四パーセント、果物五パーセントを（收益金に對し）申受く。預主へ貨物返還の際は何等の保管料を徴せず

八九、萬泰店

八區第一二一七號地　面積　一四〇〇露坪

營業科目　果物他貨物の賣買保管仲買業

平均一ケ年を通じて滿鐵より搬入するもの約九十萬布度あり

仲買手數料　一般貨物三パーセント、果物五パーセントを收益額より申受く

保管料　寄託物を荷主が自身にて賣付たるときは四ケ月に一箇六布度迄十仙迄の割合で申受く

建物　鐵板葺煉瓦　二階建

同　一階建　建坪　一二三六露坪

鐵板　葺木造建　一棟

瓦葺煉瓦建　一棟　建坪　一二二六露坪

八區第一〇五號地　　面積　一〇〇〇露坪

營業科目　　果實竝他の貨物の倉庫業、保管仲買等

平均一ヶ年を通じて上海、營口、大連より搬入し來れる貨物にして當地にて賣却せられぬ東支線又は黑龍江省（夏期は松花江川筋を船舶にて冬季は陸送にて）へ發送せらるゝもの約三十萬布度に達す

經理を廖長青こ云ひ一九一〇年より八區に於て開業せり

委託販賣手數料　果實に對しては五パーセント、他貨物四パーセントを原價より申受く

保管料　寄託貨物受戻しの時は該貨物の貴重性及び保管期間に應じて一箇に付五より一〇仙を保管料として申受く

使用人二十八名（年收五千六百元）と苦力十五名（年給金三千元）を使ふ

建物	瓦葺煉瓦建		一棟	一二〇露坪
同	同	同倉庫	一棟	七〇露坪

保險料　在庫品竝建物に對しては四萬元を天津の某保險會社に附す

八八、永升利西棧

八區一〇七號地　　面積　七〇〇露坪

營業科目　　果物、其他貨物の賣却保管の手數料

年平均一ヶ年を通じて上海、營口、大連より約百萬布度內外の搬入ありて地方市場に賣却し僅少量を東支沿線へ發送す

建物　鐵板葺二階建煉瓦家屋　一棟　建坪二〇〇露坪

第五章　各種兼營倉庫

八五、永來號糧廠

八區第九一號地　　面積　二二〇露坪

營業科目　　穀物、大豆、豆油、豆粕倉庫業

八區の借地は之を一九二〇年になせり一ヶ年黒龍江省より同倉庫の手を經て「エ」埠頭竝大連向輸出せらるゝ穀物の數一、五〇〇、〇〇〇布度乃外にして其他傳家甸に於ける油房より搬入する豆油、豆粕も相應にあり目下使用人四名（給金千元）と木造家屋一棟（建坪八露坪）あり

八六、裕勝厚糧廠

八區第一三一號地　　面積　一一六一、四四露坪

營業科目　　穀物、木炭の委託輸送業

八區の借地は一九一五年になし平均一ヶ年を通じて穀物の黒龍江省に於て買付けするもの約百貨車に達し木炭は之を東支の東部線に仰ぎ哈爾賓の需要に供す

尚貨物の輸送に就ては不明なり使用人二十名（年給金三千元）と苦力約二十名（年收七千元）を使用す

建物は鐵板葺煉瓦建　一棟　建坪　五〇露坪

八七、裕興公貨棧

内にして使用は三名(年給金外一千元)あり

八二、日隆洋行

八區第廿三號地　面積　百露坪

營業科目　石炭竝木炭業

八區の借地は一九二三年になせり而して石炭は之を撫順より木炭は東支東部線より搬入す取扱高不明なるも極く小數にして番人以外に使用人なし

八三、永振昌

八區第二號地　面積　一七〇露坪

營業科目　石材、石灰業

八區の借地は一九二二年になせり毎年數十貨車の石材竝に石灰を取扱ふ、當市に於て工事休止の爲めこれら材料到着も最近最低限度に縮少さる。販賣用石材は注文主の指示によりて型や大きさを石工をして拵へしむ貨物はすべて二層甸子驛より搬入す、使用人五名(年給金五百元)あり

八四、「アブロミイスキイ」商會

八區第四號地

建物　家屋一棟　建坪　二四露坪

事業に關しては不明

八區第十九、廿號地　面積　二〇〇露坪

營業科目　木炭、薪木の仲買業

八區に於ける營業は一九一三年より開始し每年東支東部線より自已及委託の貨物の搬入高百五十貨車以上にして委託貨物は倉庫に受入れられたる石炭一貨車に付五元を手數料として申受く

建物　支那家屋　一棟

使用人二名(年給金八百元)

八〇、カザニン商會

八區第廿七號地　面積　二〇〇露坪

營業科目　木炭仲買業

八區に於ける營業は一九一四年より開始し使用人二名一年給金六百元、家屋一棟を有す、東支線より搬入し來れる自家販賣用の木炭は年百貨車以上にして屢臨時に木炭の注文者有り、それに對しては一貨車五元の委託料を徵す

八一、『クミタ」商會

八區第十八號地　面積　一五〇露坪

營業科目　石炭竝木炭營業

一九二〇年「クロル」氏八區を借地せり

石炭は之を撫順に仰ぎ木炭は東支東部線より搬入し當地方消費者に小賣なす、平均一ケ年を通じて取扱高は百貨車以

八區第三五號地　面積　四〇〇露坪
營業科目　木炭業
八區に於ける營業は一九二〇年より開始す
建物　鐵屋根　木造家屋　一棟　建坪　十八露坪

七七、ビリユセンコ商會
八區第二九號地　面積　二〇〇露坪
營業科目　木炭仲買倉庫業
八區に於ける營業開始は一九一六年、主として自己の倉庫を有せぬ人々かこの倉庫に貨物を差立て、ビリユシエンコは斯かる荷を一旦倉庫に受入れて後所有者に渡す、其れに對して一貨車に付五留の割で委託料を取る。一年に自己及他人の貨物を四百貨車以上取扱ふ。

七八、天成福糧廠
八區第八號地　面積　一〇〇露坪
營業科目　木炭、薪木の仲買業
一九二〇年に「チヤン、チエン、.」氏「テレクボ」所有の分を一年間千元にて借地せり、東部線より搬入する木炭、薪木を地方需要として小賣する仲買料を一貨車より五元を申受く、平均一ヶ年間を通じて取扱高約百貨車内外

七九、パドロイスキイ商會

東支八區號三三號地　面積　二〇〇露坪

營業科目　石灰、薪木、石炭、木炭營業

八區に於ける營業開始は一九一一年のことにして平均一ヶ年石灰、薪木、木炭を東支東部線より石炭を札賴諸爾より凡て約三百貨車內外を取扱ひ之を小賣す

建物　家屋　五棟　建坪　九〇露坪
　　　小屋　二棟

使用人は十五名、年給金三千元なり

七五、双興隆石廠

八區三一—三二號地　面積　二〇〇露坪

營業科目　石材、石灰、薪木、石炭營業

營業主は「リ、シユ、チユン」「ク、デ、イン」の共同出資に成る

八區に於ける營業は一九一二年より開始し建物支那家屋一棟建坪十五露坪庇十露坪あり平均一ヶ年を通じて石材、石灰薪木を東部線より石炭を札賴諸爾より搬入しその數凡そ百貨車內外なり

販賣さるゝ石材は專ら角に削りたるもののみにして石材の削賃は〇一露坪に對して十仙の割にて專問職工が倉庫にて作業す

七六、義大森林木廠

六九、天源東糧廠

　　八區第一、三號地　面積　三二一、二五露坪

一九二二年に於ける一ヶ年を通じて「二層甸子」驛より石灰を一〇貨車以上搬入せり、本年度に於ては尚擴張して燃料をも取扱ふ計畫なり

建物としては建坪四、五露坪位の二個の「バラク」式建物あり

七〇、源興成糧廠

　　八區第三九號地　面積　十二露坪

　　營業科目　石灰、石材、石炭の倉庫業

一九一七年二人共同にて借地せり、平均一ヶ年を通して搬入する量は百貨車以上に達し石灰と石材は東部線より石炭は札賚諾爾より取り寄せ倉庫より少量づゝ販賣をなす、同倉庫の使用人に出す給金は年二千元内外にして石炭を堆積するに縱一シャージエン横一、一二シャージエン積が一、元五毛一、五〇シャージエンか一、七元を支拂ふ

七一、增盛德石廠

　　八區三八號　面積　一〇〇露坪

　　營業科目　石灰販賣業

八區の貸與は以前よりにして東支東部線地方より搬入し來る石灰は年に二萬貨車に達し小賣販賣をなす

　　建物　家屋　一棟　建坪　十五露坪

營業科目　撫順炭販賣業

仲買事務所は八區二七、二八號地にあり

六六、小野撫順煤廠

八區二、四號地　面積　二〇〇露坪

小野商店は「ゼレズナコフ」と共同にて二七、二八號地に仲買事務所を爲す

六七、梅田煤廠

八區第一八、二六號地　面積　二〇〇露坪

營業科目　撫順炭販賣仲買業

八區の貸與は一九二三年より始む

事務所は八區二七、二八號地にあり

六八、蘇城炭坑

八區二二號地　面積　二〇〇露坪

一九二〇年より八區に開業し、蘇城より輸入し來る數量は一ヶ年二百貨車に達せしが、目下は沿海州の政變により一九二二年十一月以來石炭の到着は停止せり

石炭倉庫主の炭坑との關係を復活せんとする企畫は失敗に歸し、概して倉庫主と蘇城との商業關係復活の望み無し。

八區に小なる木造建家屋一棟あり。

たる家內に事務所を設置し之等家屋は仲買人と同商會の約定終結後後者の所有に移るものなり。
各仲買事務所には四乃至八名の使用人を有しこれら一般の經費が仲買人の負擔となるもの年に二萬一千圓なり。
上記仲買事務所の他、八區に商會自身の事務所ありて仲買人に對する同樣の規定にて石炭を販賣しつゝあり。
使用苦力としては常傭はなし一千布度の石炭の作業料は三圓宛なり

六三、南滿鐵路公司

八區第一、三、五 九、一四、一五號地　面積　九〇〇露坪

營業科目　石炭倉庫業

一九一六年に借地せり

一ケ年を通じて撫順よりの搬入高三百萬布度內外なり

第二七、二八號地の補充倉庫なり

六四、竹內商會

東支八區第十、十六號地　面積　二〇〇露坪

營業科目　撫順炭販賣業

仲買事務所は八區二七、二八號地にあり

六五、和昌泰煤廠

八區一一、一三號地　面積　二〇〇露坪

六一、歸商業銀行

八區第一二八號　面積　三〇〇露坪

營業科目　牛生皮、牛角業

八區の借地は之を吉西貴商號一九一一年に爲せり、牛生皮牛角は之を哈爾賓にて買付け其の數年一千五百枚内外にて一枚約一布度二十斤位あり

使用人二名(年給金三百元)あり

建物　木造家屋　二棟　建坪　二五露坪

第四章　野天倉庫業

六二、南滿州鐵道株式會社

八區第二七、二八號地　面積　一六二七、〇二露坪　電話四七ー七八

石炭倉庫業　一手販賣　鈴木商店

八區の借地は一九一四年に爲さる

每年撫順よりの石炭の搬入高三百萬布度以上にして「シンジゲート」を形成する特定仲買者等により當地にて賣却さる。

仲買者等は石炭の販賣に對し布度に付一錢から二錢を商會より受取る。

仲買人　竹内、新隆洋行、松茂、和昌泰、「ジイ、ルー」、小野(ゼレズナコフ共同)は同倉庫に各自己の費用にて建築し

營業科目　　鐵類、花莚、綿花、穀物其の他支那器具類賣買業

平均一ヶ年を通じて天津、營口よりの搬入あり其の他當地にて購入するもの而して哈爾賓地方にて賣却せらるゝもの大約百萬布度に達す

建物　鐵葺屋根家屋　三棟　建坪　一五〇露坪

小板葺木造倉庫　三棟　建坪　一九八露坪

事務室　一棟

保險　建物並在庫品にして保險會社「ヒンシン」「レンポァウ」「ヤンチン」に四萬元を附せり

八區の營業は一九一六年よりの開業にして楊盛興商號之を貸與し營業せり使用人六名(年給金一千五百元)あり

六〇、慶勝泉

八區第一二八號地　面積　三〇〇露坪

營業科目　牛生皮、牛角賣買業

八區の借地は一九一二年廣信棧商號之を爲せり

牛生皮は之を主に滿州里、海拉爾驛及當地にて購入す其の數一ヶ年六千五百枚に達し之を哈爾賓地方にて賣却す

倉庫　鐵板葺煉瓦建家屋　二棟　面積　二四露坪

同　木造倉庫　一棟　建坪　四四露坪

保險　建物全部に對して「チユンポ」保險公司に對して保險五千元を附せり

八區第一一五號地　面積　六〇〇露坪

營業科目　一般貨物、織物、綿花、鐵鍮器類の賣買保管の仲買業

平均一ヶ年を通じて南滿洲鐵道に依りて搬入せらるゝ貨物の數約百萬布度に達し哈爾賓地方の需要並東支烏蘇里へ發送す

建物　瓦葺煉瓦建　一棟
同　鍮屋根煉瓦建　一棟　建坪　一二五露坪
建物　鐵板葺木造倉庫　一棟　建坪一五〇露坪

保險　建物並貨物共に十萬元の保險に附しあり

同倉庫の八區營業は一九一六年に始まり經理『リユ、ツエ、シヤイ』

仲買手數料　寄托貨物の賣却手數料は收益金より左の通り徵收す

一般貨物　四パーセント　織物　三パーセント

保管料　若し同倉庫の手を經ずに在庫品を荷主自からが賣却せるときは每四ヶ月計算にて一箇に付き五—一〇仙を徵收す

倉庫使用人十九名(年給金六千一百元)なり

五九、功同合貨廠

八區第一二九號地　面積　一、〇〇〇露坪

建物　鐵板屋根煉瓦建　一棟
同　同　木造建　一棟　建坪　五六露坪
軒下坪數三二露坪
建物に對しては金星保險會社に五萬五千の保險を附しあり
倉庫使用人は五名（年給金二一五〇〇元）なり
營業科目　貨物の仲買業
委託賣價格の三パーセントを一般貨物より綿花類よりは四パーセントを徴す保管料は保管の期間に應じて三—四仙を徴す

五七、廣和成貨棧
八區第一〇六號　面積　四〇〇露坪
織物、陶器、鐵器、鑄物、花莚類、紙類、茶並綿花
營業科目　倉庫業
平均一ケ年を通じて上海より搬入し而して當地にて賣却せらるゝ貨物約二千萬布度あり
同商會の八區に於ける營業は一九一四年より開始せられ從業員は四名（年給金は九百元）なり
建物としては鐵板屋根葺煉瓦建二階家屋　建坪二〇〇露坪

五八、万發億

倉庫の使用人二十五名(年給金七九〇〇元)と苦力十六名(年給金三九〇〇元)を使傭す

建物としては鐵屋根葺煉瓦家屋四棟　總建坪　二六〇露坪

五五、天興福帳房

八區第三號地　面積　一一六、八一

營業科目　雜貨及穀物倉庫業

平均一ヶ年を通じて同倉庫に搬入する大豆は馬車輸送による黑龍江省もの船舶の輸送による川筋ものにして小麥は安達、滿溝、對靑山等の各驛より搬入し一般貨物は上海、營口、大連より其數約四十五萬布度に達す其の中穀物は之を大連「ェ」埠頭へ輸出し一般貨物並小麥の一部は哈爾賓市場へ出す

同倉庫の營業開始は一九二二年に始まり使用人十九名(年給金四千四百元)を雇傭せり

八區に於ける建物としては鐵板屋根二階建煉瓦家屋一棟と木造家屋一棟合計建坪一三五露坪と同倉庫(亞鉛板構ひ)一棟一五〇露建坪建物に對しては當地英國保險會社に十萬元を附し有り

五六、永盛義

營業科目　一般貨物の賣付保管に關する仲買業

八區の借地は一九二二年「ツィ、ユ、クン」氏之をなし開業せり

平均一ヶ年の同倉庫に於ける取扱高は上海よりの搬入貨物約二萬五千布度にして之を哈爾賓市場及一部東支沿線に賣出す

八區の借地は一九一四年「ルーテニン」氏之れを爲し開業せり目下使用人六名（年給金一、七五〇元）あり

建物　鐵屋根葺煉瓦建　一棟　建坪　二八露坪

木造倉庫　一棟　鐵庫　一棟　煉瓦倉庫　一棟

合計建坪　一〇〇坪

保險　建物在庫品に對して四萬五千元を附せり

五四、大有恒貨廠

八區第二號地　面積　二、四三九、三六露坪

一般貨物並に穀物の保管、賣付けに對する仲買業、阿什河城に本店を有し當地事務所は支店に外ならず、一九一一年に孫成民氏外二人が八區を借地し經營す

目下の調査に據れば倉庫には大豆二萬五千布度、一般貨物一萬五千布度ありて保險會社大佶、「ターツワングー」「ヤンーチユ」「レンポアテ」等に總計九萬元を附しあり、一九二二年同貨廠の手を經て搬出せられたる貨物五十萬布度にして其前數年に於て四ー三百萬布度に達したりしものなるがこの不況は商況不振による。

貨物の賣付に對しては其手數料として一般貨物は賣却額の三パーセント穀物は一、五を申受く

預入貨物の保管料は預主が倉庫より受戻すときに限り四ケ月間の保管料一箇に付五ー二〇仙を申受く、若し貨物か四ケ月以下保管の時は保管料は其相當値下せらる可し。其他委託手數料の額は保管期間の長短又貨物の貴重さによりて大いに關係を有す、安價なる貨物は保管料も從つて甚だ安し

倉庫の使用人は四名(年給金一千元)なり

建物としては鐵板屋根葺煉瓦建一棟　建坪四八露坪あり

五二、宏德厚糧廠

八區第二九號　面積　七五〇露坪

營業科目　一般貨物、寄托、保管業

八區の借地は一九二二年より始め使用人十一名(給金年二五〇〇圓)を使ふ現今の調に據れば在庫品綿花五千布度にして平均一ヶ年の取扱高は資料欠如のために不明なり在庫品に對しては大估保險に八千元を附しあり、八區には木造家屋一棟　建坪九露坪

委託賣却せらる可き在庫貨物の手數料としてはこれを左の通りに申受く

一般貨物に賣價の三パーセント綿花には四パーセントを徴す

一ヶ月にして引取らるゝ貨物に對しては保管料を徴せず、もし一ヶ月後に受戻さるゝ時は一保管全期間に對し布度に付〇、五〇仙を徴收す

五三、德增福貨廠

東支八區第一〇五號地　面積　三〇〇〇露坪

營業科目　器具類並其他貨物倉庫業

平均毎年上海其他南支那の各都市より二萬五千―　萬布度に達し之を當地に賣却す

建物　家屋　二棟　建坪各々二一露坪
保險　在庫貨物には金星保險會社に附しあり
五〇、興業銀行倉庫
八區第一〇五號地　面積　八〇〇露坪
營業科目　一般貨物倉庫の資金融通業
同倉庫は哈爾賓に於ける地方貨物のみを取扱ひ他處の分に對しては引受けをなさず
平均一ヶ年の取扱高並資金融通高とその利息率等に就ては不明なり
八區に於ける開業は一九二〇年より始め使用人四名(年給金八六〇元)なり
建物としては鐵板屋根葺煉瓦建二棟　建坪六一露坪なり
尙煉瓦建二棟　鐵屋根木造建一棟　建坪一二〇露坪
右の建物に對しては保險七萬元を附せり
五一、德增順糧廠
八區第二二號地　面積　六二八露坪
營業科目　一般貨物並支那日用雜貨倉庫業
八區の借地は一九一九年劉劫忱氏爲せり同糧棧の平均一ヶ年の取扱高は一般貨物は僅かに二萬五千布度にして上海、神戸、營口よりの輸送貨物にして是等の貨物は冬期は馬車にて夏期は松花江の船舶にて黑龍江省内に發送せらる。

現今哈爾賓に四倉庫と「ボクラニチナヤ」拉哈蘇々に支店を有す

四八、信昌洋行（トハズーナフタノウィチ合資會社）

東支八區第四—四A號地　　面積　　五〇〇露坪

營業科目　　穀物倉庫業

八區に於ける開業は一九一四年より初め全然私人の經營に屬す。貨物の保管引受をなす。

八區には石鹼製造所ありて一九二三年よりは上等なる化粧石鹼の製造を開業せり因に該工場は一九一六年より開業せり。

倉庫業としての報導は不明。

四九、賓興利糧廠

八區第十三號地

營業科目　　一般貨物の輸送並寄托、保管賣却仲買業

八區倉庫は一九一六年よりの借地にして平均一ヶ年を通じての取扱高は約一五〇萬布度に達し主として南滿洲鐵道よりの輸送各種貨物を黑龍江省側並松花江川筋へ陸輸送並齊々哈爾市へは東支鐵道によりて發送す。

同糧棧扱の再發送に對する料金一貨車につき金留五圓を申受け貨物の賣付に對しては收益の一パーセントを申受く而して倉庫に於ける保管貨物の料金は不明なり。

倉庫の使用人十名（給金年六〇〇〇元）と苦力二〇名（年給金五〇〇〇元）あり

營業種目　　本貨物取扱倉庫業

同倉庫の開業年一九二二年の始には材木を除き何等の事業もなかりき

一九二二年六月より一九二三年六月に至る同公司の取扱高は板材、丸太材等六九〇貨車を發送せり（中三五〇貨車は八區より三〇〇貨車は哈爾賓埠頭驛より發送せり）一九二三年度に於ては同公司は一般貨物の取扱をもなさんとす。

建物　　未造家屋　　一棟　　建坪　　一六露坪

四七、哈爾賓露支運輸會社

支配人　　ヌ、イ、グーセフ

事務所　　松花江鐵橋附近（哈爾賓埠頭）

荷物取扱所　　東支八區入江附近

倉庫　　東支八區

八區の借地は一九二二年よりなし位置は入江に近く位し同商會の營業は一九二一年より開始して「ヌ、イ、グーセフ」氏支配人となり一九二二年に至りて組織を變更して三人共同出資とせり其主なる營業としては貨物の河關の手續並に松花江川筋もの〻受入北滿貨物の「エ」埠頭向け輸出貨物の取扱をなす本年冬期に於ける同商會の稅關の手續代辨は大輸出商並開河期中松花江川筋穀物の取扱ひ支那商店の代辨をなす

一九二三年冬期に於ては稅關手續代辨の外に同商會としては松黑兩江並其の支流に依つて貨物發送の爲め特に運輸倉庫部を設置せり、沿岸行輸送貨物の船積取扱をなすに至れり。

鐵板屋根煉瓦建　一棟　同　一六〇露坪

其の他小屋等あり

建物並在庫品に對しては三井物産會社に五十萬圓の保險に附しあり。同倉庫の營業は一九一八年十一月二十七日より開始し使用人七名(給金年一萬八百圓)と苦力六名(給金年二千四百圓)なり

四五、小寺洋行倉庫

八區第一二七號地　面積　五〇〇露坪

同　第三一—八六號地(但倉庫)

營業科目　一般貨物、麻袋の倉庫及貨物抵當資金貸出

建物　鐵板屋根木造家屋　一棟　建坪　一八、五露坪

同　木造倉庫　同　同　七〇露坪

平均一ケ年に同洋行が貸出す融通資金は五十萬圓に對し月一、五パーセントづゝを取立てる

保險　建物に對しては保險に附しあらざれども在庫品に對しては十萬圓を三井物產、鈴木商店に契約しあり

同洋行の哈爾賓開業は一九一一年にして八區は一九一七年なり

倉庫の使用人は四名(年給金二、二八〇圓)なり

四六、山口運輸公司

八區五號地　面積　五二〇露坪

營業科目　日本一般品貨物倉庫業

同倉庫の營業は一九二一年に始まり日本品の一般貨物の取扱の外に穀物の取扱もなせど其の數は不明なり一九二二年度の取扱高は二萬布度餘を算せり、同年度同洋行は多大の缺損を招けり而して日本貨物は哈爾賓の市場に賣出せし穀物は大連向けて輸出せらる

同洋行の使用人は五名（年給金四五六〇圓）なり

建物	鐵板屋根葺煉瓦建家屋	一棟	建坪	五七露坪
同	同　木造建倉庫	一棟	同	三〇〇露坪

保險　建物にしては六萬圓を在倉品に對しては二萬圓の保險を附しあり

四四、北滿倉庫

八區第二一一九六號地　倉庫

第二〇一二一號地　事務所　面積　一、八九九露坪

營業科目　織物、鐵器類、砂糖、煙草、茶、綿糸、麻袋、其の他

平均一ヶ年該倉庫にて取扱はるゝ貨物は日本、上海もの約三百萬布度にして多く當地方需要品及黑龍江へ輸送さる、冬期は馬車輸送夏期は河船便による

東支八區には左の如き建物あり

瓦屋根煉瓦建　一棟　建坪　一八露坪

四一、世合棟糧廠

八區三號地　面積　一七〇露坪

營業科目　穀物倉庫業

同倉庫に關する事業は不明、而して八區敷地には何等の建物無く番人の外何も無し

第三章　一般倉庫業

四二、鈴木商店哈爾賓出張所

八區第一〇二號地

倉庫業としては日本雜貨を輸入なし近年の平均一ヶ年日本より當地市場行きのため同倉庫の手を經るもの約十五萬布度に達す

建物　八區には鐵板屋格葺煉瓦建家屋一棟同じく鐵板屋根葺木造家屋一棟　建坪　一一〇露坪

倉庫　煉瓦建　一棟　四〇〇露坪（附同建物の庇の物置場約六〇露坪）

保險　新日本保險會社に七萬圓の保險に附しあり

同倉庫の八區附設は一九一六年にして倉庫には使用人六名（年給金四〇〇〇圓）なり

四三、三井洋行倉庫

八區第九二九四號地　面積　二、八四五露坪

鐵屋根煉瓦家屋　一棟　建坪　三〇露坪

木造倉庫　一棟　同　一二露坪

保險　全建物に對し『レンボアチ』保險會社に六千元の保險を附しあり

三九、吉祥倉庫

八區第二十六號地　面積　八九〇、四〇露坪

營業科目　穀物倉庫業

一九一五年より最近二ケ年間に休業狀態にして使用人には給料（年額千元）を支給して依然置いて居る。休業の原因は一更分明しない、兎に角然し資力が無い爲に休業してると見ることは出來ない、何となれば同所員の言によれば同公司には安達、奉天、浦潮に製粉場を奉天に毛布工場を又海洋船二隻を所有す

建物　木造建家屋　一棟　建坪　十二露坪

同　木造倉庫　同　建坪　十八露坪

四〇、成發東糧廠

八區第三二號地　面積　六四二、〇二露坪

營業科目　穀物倉庫業

建物　木造家屋　一棟　十露坪の廣場

該倉庫は既に暫く休業し貸借地は既に他人の手に渡れり

「エ」埠頭向輸出とし或は又地方需要として哈爾賓にて賣捌く
倉庫使用人四名（給金年八千元）と苦力四名（給金年一千元）なり

建物　家屋　一棟　建坪　七露坪

三七、永發成糧廠

八區第八號地　面積　四二七露坪

營業科目　穀物倉庫業

當地の倉庫及事務所は支店にして穀物購入中心たる黑龍江省綏化に本店を有し同地より陸輸送にて當地に搬入し來り大部分を大連向輸出し哈爾賓にて賣捌をなす。其數一ヶ年約二萬布度に達す
同倉庫は一九二〇年東支より借地し六名（年給金一八〇〇元）の使用人と二十名（年給金六千元）の苦力を傭ひ營業す
八區には支那家屋　一棟　十二露坪あり
在庫貨物は三井物産の保險に附す

三八、西成興糧棧

東支八區第二二號地　面積　一二三二、一五露坪

八區の借用は一九一二年福順泰號之をなし既に今日迄三ヶ年何等の營業をなさずこれは同號の營業上に不況を來しつゝある近年一般經濟界不振が重なる原因なり

建物　木造倉庫　四棟　建坪　一八〇露坪

手を經て當地にて賣捌く

倉庫使用人七名(給金年三千元)なり

建物　鐵屋根煉瓦建家屋　一棟　建坪　七二露坪

鐵屋根木造建倉庫　一棟　建坪　七二露坪

保險　建物に對しては保險を附しあり

三五、源興義糧棧

八區第三號地　面積　三二三露坪

營業科目　穀物倉庫業

八區の借地は一九二〇年のことにして孫芝秀氏が借主なり同倉庫に取扱ふ黑龍江省ものゝ大連向輸出せらるゝ穀物は平均一ケ年百萬布度に達す

倉庫使用人三名(給金年千元)と苦力六名(給金年千八百元)なり

建物　木造家屋　建坪　二十七露坪

三六、益發長糧棧

八區第九號地　面積　二七六露坪

營業科目　穀物倉庫業

同倉庫の營業開始は一九二〇年にして黑龍江省よりの平均一ケ年の買付高は穀物約百五十萬布度内外なりこれを大連

營まず調査の當時倉庫には大豆七萬布度、小麥三萬布度を收容せり

倉庫使用人員二名(給金年四百元)なり

建物　鐵屋根煉瓦建家屋　一棟　十二露坪

　　　倉庫　一棟　二一〇露坪

三三、世合桟糧廠

　八區第一號地　面種　一、三三九、五露坪

　營業科目　穀物倉庫業

一九一七年の借地にて經理は孫益三氏なり

黑龍江省より陸輸送にて年平均約二百萬布度內外の買付をなし其の小部分は哈爾賓にて賣付をなし大部分は大連「エ」埠頭向けて輸出せらる

倉庫使用人四十名(給金年四萬元)と苦力三十名(給金年八千元)なり

建物　鐵屋根煉瓦建　一棟　建坪　一五〇露坪

三四、永衡豐糧棧

　八區第一二〇號地　面積　七二〇露坪

　營業科目　穀物倉庫業

一九二〇年より營業をなし黑龍江省より每年平均買付けをやる數は三十萬布度內外にして凡て之を傳家甸の交易所の

趙紀春氏の借地に係り該公司は一九二〇年よりの營業なり
平均一ヶ年の取扱高は僅々三萬布度にして黑龍江省に於て商會自身が購入し之を哈爾賓にて賣却す
倉庫使用人は一名(給金年六〇〇元)と苦力十二名(年給金千五百元)なり

建物　木造家屋　一棟　建坪　十八露坪

三一、天盛東糧棧

八區第十九號(A)　面積　四八一、八〇露坪

營業科目　穀物倉庫業

一九二二年の借地にして事業參與者四名、年平均三十萬布度の貨物を取扱ふ。黑龍江省にて買入れ一部は當哈爾賓にて賣捌き一部は大連へ輸出す
倉庫營業員四名(俸給年一千元)苦力十五人(使用料年二千五百元)

八區に木造建　一九露坪

木造倉庫　一　十二露坪　共に鐵板葺

三二、大順昌糧廠

第八第九號　面積　八一六露坪

營業科目　穀物倉庫業

一九二〇年の借地にして平均一ヶ年の營業は不明にして是濱江交易所に取引を爲す外原産者より穀物の買付も輸出も

營業科目　穀物倉庫業

一九二〇年の借地にして平均一ヶ年の買付高は二百萬布度に達し黑龍江省に之を求め大連一部は『エ』埠頭へ向けて輸出す

倉庫使用人十一名(年給金八千元)苦力二十五名(年給金六千元)あり

建物　木造建家屋　二棟　建坪　二十露坪

保險　在庫品に對しては三井物產會社の保險に附しあり

二九、德發源

八區第十六―二〇號地　面積　三五九露坪

營業科目　穀物倉庫業

一九二〇年に經理萬海棧商會主人か借地せるものにして黑龍江省より買付す支配人の談によれば商會は輸出なさず、哈爾賓に於て賣却す。穀物入庫の一年平均數量約百五十萬布度に達す

倉庫使用人七名(給金年四千元)と苦力十四名(給金年二、七〇〇元)なり

建物　木造家屋　一棟　建坪　一〇露坪

三〇、會成興糧棧

八區第十九號地　面積　六〇〇露坪

營業科目　穀物倉庫業

營業科目　　穀物倉庫業

同所は始め『震大』氏之を借地し後福楊盛之れを讓り受け本一九二三年始めて開業せり而して穀物は直接黑龍江省地方に於て買入れ哈爾賓にて賣却す、未だ對外輸出業には經驗なきも近き將來に此の方面の營業も行ふ希望を有す、調査せる時期には倉庫に七萬布度の穀物を有せり

現今同倉庫には七〇、〇〇〇布度の穀物を置くことを得

倉庫使用人四名(給金年五〇〇元)

建物　　木造家屋　　二棟　　建坪各八露坪

二七、永和源糧棧

營業科目　　穀物倉庫業

八區第十八號地(A)

始め王魏卿氏の借地せるを一九二一年永和源商號之を又借りし松花江川筋の穀物の買付をなし同倉庫の手を經て大連營口に向け輸出せらるゝ數量約百七十萬布度に達す

倉庫使用人二名(給金年各々二四〇元)

建物　　事務所家屋　　一棟　　建坪　　四露坪

二八、天豐東糧棧

八區第十七號地　　面積　　五一八露坪

二四、同大號糧棧

八區無記號地　面積　四〇〇露坪

營業科目　穀物倉庫業

九一一年より八區を借地せるも現今迄何等八區にては營業をなさず

倉庫使用人二名(年給三六〇元)

建物　木造建家屋　一棟　十二露坪

二五、源聚豐糧棧

八區第十九號地　面積　一、四四四、二〇露坪

營業科目　穀物倉庫業

八の　は之を双合盛がなし元聚豐商會によりて一九一九年より營業をなし穀物の買付は之を黑龍江省に求む同倉庫を經て大連一部は「エ」埠頭へ出す量は一ケ年約六十萬布度なり

倉庫の使用人四名(給金六〇〇元)並苦力九名(給金年千七百元なり)

建物　木造建　屋　二棟(一棟　建坪　十六露坪、一棟　建坪　十八露坪)

亞鉛屋根倉庫　一棟　建坪　二四露坪

二六、福源發糧棧

八區第十八號地　面積　二一三〇露坪 三四三露坪　五八三露坪

八區第二一六號地　　面積　　八〇〇露坪

營業科目　　穀物倉庫業

經營者は傅有升氏にして一九二〇年より東支八區に於て營業を開始せり、一年に黑龍江省より入庫し大連及『エゲリシエリド』へ向けて輸出する數量約百萬布度なり

倉庫の使用人一名(給金年五〇〇元)と苦力十名(年給金二千元)なり

建物　　木造鐵屋根葺　　一棟　　建坪四七、五露坪

二三、益發合糧棧

八區第一二二號地　　面積　　一、〇〇〇露坪

營業科目　　穀物倉庫業

一九一三年より八區貸與し買付穀物は之を黑龍江省に求め同倉庫を經由して大連へ、一部分はエ埠頭へ輸出せらるもの毎年約百九十萬布度に達す

倉庫の使用人八名(年給金二、八〇〇元)にして同倉庫にての貨物の積卸等の作業の爲に使用せし苦力賃年額九、〇〇〇元に及ふ

建物　　鐵屋根葺煉瓦建　　一棟　　建坪　　五二露坪

　　　　木造建倉庫　　一棟　　建坪　　七五露坪

保險　三井物產會社に貨物を保險に附しあり

建物　家屋　一戸　二十一露坪

二〇、西盛棧糧廠

營業科目　穀物倉庫業

八區第一三〇號地　面積　三三四露坪

一九一五年の借地に係り更近年度に於て一ヶ年の取扱高約四十萬布度に達せり、一九二三年度に於ては經濟不振の爲營業を中止せり

建物　二棟（一木造一煉瓦建にして共に鐵屋根葺なり）　建坪四七露坪

建物は大估、『ユンボヴ』の二保險會社の保險に附せり

二一、天合盛糧廠

八區第百〇號地　面積　八〇、〇二〇露坪

營業科目　穀物倉庫業

該公司の經理は趙飽升氏にして一九二〇年より營業し居り黒龍江省より買入れ、此倉庫にて買卯するもの約七十五萬布度に達す

倉庫使用人四名（年給金一二〇〇元）苦力十二名（年給金三〇〇元）なり

在庫貨物に對しては保險會社金星公司（米）保險を附しあり

二二、廣信升倉庫

營業科目　　穀物倉庫業と賣付保管仲買業

一九一九年の借地にして一ヶ年を通して呼蘭河地方より入庫し賣却する數量約百萬布度に達す、而して賣却先は主として哈爾賓取引所なり。賣却に對する委託手數料は委託賣價の一パーセントを申受く而して若預入貨物を倉庫より受戻すときは一個に付一ヶ月一仙の割にて保管料を申受く

倉庫の使用人三名(年給金額七五〇元)而して貨物の積替等の作業料は一千布度に對して大洋の六元を支拂ふ

建物　房子　一戸　坪數　七露坪

一九、德聚銀號糧棧

八區第十五號地　面積　四〇七露坪

營業科目　穀物倉庫業と賣付保管仲買業

敷地は「カサトキン」氏之を借り下げ更に德聚銀號の經理「チユ、シン、ツアイ」氏か「カサトキン」氏(目下ソースキンの所管)より三ヶ年期間にて(一ヶ年三、〇〇〇金留立て)之を借り受く

倉庫は該公司として貨物を購入することはなく仲買業のみに從事す、販賣委託手數料は一貨車三元の割にして尚保管料は前に預主が受戻す時に限り四ヶ月分一個に付五仙を申受く

在庫貨物は之を大佔保險會社の保險に附す

一個年に於ける該糧棧に搬入せらるゝ貨物の數量は十八萬布度乃內なり

倉庫使用人は三名にて年給金一千元苦力六名に年給金一千五百元を支拂す

八區第四(A)號地　面積　五二二露坪

營業科目　穀物倉庫業と賣付保管仲買業

一九一九年の借地にして一ヶ年間に黑龍江省より該公司倉庫に搬入され當地取引所に賣出されるもの平均約五十萬布度賣却に對する仲介手數料は一貨車に付大洋五元又預入たる穀物が賣れないで預主に返へされる場合には保管料として一個に付一仙とす。

倉庫使用人六名(給金額年三千元)にして穀物一千布度に對する作業料は三－五元を要す。

一七、裕廳厚糧棧

八區第二十九號地　面積　七五〇露坪

倉庫建物　房子　二戸　三十露坪

營業科目　穀物倉庫業と賣付保管仲買業

一ヶ年に黑龍江省より搬入し來る大連「エゲリシエリド」向輸出する穀物平均約十萬布度に達す。

賣却に對しては賣價の一パーセント仲介料を申受く而して保管料は一切之を取らず。

同公司は厚德豐と共に八區に事務所を有し同公司として獨立したるものなし。

倉庫使用人は三名にして年給金額一千四百四十元に達す。

一八、華豐信糧棧

八區第四號地　面積　三六〇露坪

一四、永德倉庫

八區第六、七號地　面積七、八六六露坪

營業科目　穀物倉庫業と穀物賣買並保管仲買業

經營者は二人して一九一〇年の借地にかゝる黑龍江省より搬へし來る穀物の該倉庫を經由して大連港及一「エゲルシエリド」へ向け殆同量づゝ輸出せらるゝもの一年平均約百萬布度に達す。

仲介の報酬は賣れた値段の一分とし、貨物を預主に返戻する場合には保管料として三ヶ月間に對して一個に付き二仙を申受く。

倉庫の使用人十二名(給金額年四、八〇〇元)苦力の賃金年約七、〇〇〇元なり。

一五、東盛益糧棧

八區第三(A)號　面積三一五露坪

營業科目　穀物倉庫業と穀物賣付保管仲介業

開業早々につき未だ何等報導の材料なし。

一九二二年の借地にして使用人三名(給金額年九〇〇元)あり。

調査の際倉庫に大豆二車ありて、賣却の目的なるも委託報酬については豫めの協定なかりしものなり。

建物　木造　二　四十八露坪

一六、永和長糧棧

八區第二號地　面積　四七二露坪

營業科目　穀物倉庫業

一九二〇年の借地にして平均一年間に黑龍江省の穀物にして倉庫を通し大連及一部分は『エゲリシエルド』へ輸出せらるゝもの約百萬布度に達す。

倉庫使用人六名（給金額年千六百元）

建物家屋　一棟　七露坪

一三、和順泰糧廠

八區第一號地　面積　四九二露坪

營業科目　穀物倉庫業と穀物賣買並保管仲介業

該公司は一九一九年の借地にして平均一ケ年黑龍江省地方より馬車輸送にて倉庫に搬入せらるゝもの約二百萬布度に達す、而して『エゲルシエリド』及大連向輸出せらる。穀物の賣買に關しての手數料は一貨車に付一元五毛を徵し該貨物を預け人に引取らるゝ場合には保管料として四ケ月分一布度五仙を徵す

倉庫の使用人は十二名（給金額年九、六〇〇元）と苦力六〇名（年給金一八、〇〇〇元）

建物	小屋	一	一〇露坪
家屋		一	一〇露坪

尙該貨物大豆二十五萬並小麥十五萬布度に對して十五萬元の保險を附しあり

價格の七〇パーセントに相當す。倉庫に於ける穀物の保管料は次の如く定む。

一袋に付

小麥	一五日間內	一、四仙	三〇日間內	二、三仙	六〇日間內	四、三仙	九〇日間內	五、五仙
大豆	同	一、二仙	同	一、九仙	同	三、〇仙	同	三、七仙

一〇、交通銀行倉庫　何等の調査材料を得るを得ざりき、事務所は傳家甸に在り。

八區第一二四―一二五號地　面積　二〇、六七露坪

一一、濱昌盛糧廠

八區第六號地　面積三三四露坪

營業科目　穀物の保管並に賣却の仲介業

經理王盛裕外二名の經營に係り一九二〇年より營業し黑龍江省地方より搬入し來るもの每年約百萬布度に達す、『エグリシエリド』並大連港向輸出す。

賣買に對し仲介の報酬として一布度より一仙、而して賣却せられぬ前に荷主により貨物を引取らるゝ場合は保管料として四ケ月每に一箇に付五仙を徵す。

倉庫使用人十五名(年給三千元)と苦力三〇名(年給一〇、〇〇〇元)

建物家屋　二棟　十五露坪

一二、濱昌盛糧廠

倉庫　（亞鉛屋根　四十五露坪）

八、永衡通倉庫

八區第一三三號地　面積　一〇一八、三五露坪

營業科目　穀物倉庫業

一九一三年の借地にして該公司の穀物は凡て之を綏化縣に於て買込をなす、其の年額約六萬布度に達し之れを傅家甸の取引所の手を經て賣付くるを常とす。

倉庫の使用人　五名　苦力　十七名（年給四千五元）なり

建物　家屋　二　（共に木造建）　三十露坪

九、濱江糧食交易所倉庫

八區第一〇九號　敷地面積　一、一五〇露坪

營業科目　穀物保管倉庫業

該倉庫に於ては主に馬車及松花江河船により黑龍江省地方より搬入せる穀物其の他東支鐵道西部線より小量の穀物を取扱ひ而して哈爾賓市場にて賣却せらる、

該倉庫は一九二二年よりの營業にして使用人五名（年給年千七百元）あり

倉庫には木造家屋（板葺）一棟　三十露坪と穀物倉庫（亞鉛板張り）一棟　一五〇露坪あり

右の倉庫に對する保險は金星保險會社（米國）に二萬元を附しあり、尙仝各保險會社に貨物を保險に附したるもの其の

營業科目　　穀物倉庫

一九二一年の借地にして使用三名(年額給料三、〇〇〇元)と苦力十名(年額給料四、八〇〇元)

調査の際同倉庫に在庫せるもの黑龍江省よりの馬車輸送の穀物大豆四〇萬布度と小麥十萬布度に達せり、全商會員の話によれば一九二二年に於ても同額の穀物が入庫せる由なり、商會は貨物自から輸出する事は計畫せず、傳家甸取引所にて營業する方を擇び居れり。

穀物に對しては各種保險會社に六十五萬元の保險契約あり。

建築物　木造家屋　一三、五露坪

木造倉庫　一　二十四露坪半

七、東三省銀行倉庫

八區第九十六號地　面積　一、〇〇八露坪

營業科目　穀物倉庫業

一九二〇年の借地にして昨年は閉業せり、但し調査の當時は倉庫に(野積を含む)には大豆二十萬、小麥十四萬布度の在庫高ありき、而して穀物の買付並賣付は共に哈爾の市場にて爲す同銀行は在庫貨物の發送は之れを取扱はず。

倉庫使用人　十名(年給金三、六〇〇元)

建物　家屋　二　中　一棟　瓦建　屋根葺　十五露坪

木造建　十八露坪

一九一八年に借地し調査當時大豆四十八萬、小麥十七萬布度を黑龍江省より馬車にて搬入せるもの在庫せり、商會は獨立に發送をなさず傅家甸取引所にて賣却す、一九二一—一九二二年收獲時に於ては約百五十萬布度の在庫穀物ありて而かも商會は自分では少しも發送せざりき。

使用人　六名（年給金六、〇〇〇元）　苦力　三〇名（年給金一二、〇〇〇元）

建物　亞鉛屋根葺　倉庫　一　四〇露坪

木造建　倉庫　一　六〇露坪

貨物並に建物は大估保險會社に六十六萬五千元の保險を附しあり。

五、廣勝棧糧廠

場所　八區第二四號　面積　九八、二三五露坪

營業科目　穀物の倉庫業

平均一ケ年に黑龍江省より馬車輸送にて百七十萬布度の貨物を搬入「エグリシエリド」大連埠頭へ向けて輸出す。

一九一六年に東支より借地し使用人五名（年給料二、〇〇〇元）なり。

建物　支那家屋　一　十露坪

煉瓦建倉庫　一　二十八露坪

六、廣信升倉庫

場所　東支八區第二十五號地　面積　七九、六九三露坪

に對して新課税を實施せるために著く小量なるべしと豫測す、仕向地は『エゲルシエリド』を第一とし大連之に次ぐ、東支八區の借地は一九〇六年にして使用人十二名年一二、〇〇〇留の給料を拂ひ一千布度の庫內作業に付三留の割にて苦力を傭ふ。

建物鐵板屋根葺木造建　十五露坪　一棟

木造倉庫　十八露坪

二、ワツサルド商會（寶隆洋行）『ウヲスーチノ、アジアトスキー』商會

營業科目　穀物倉庫業

東支八區の第七號　面積六四七露坪にして『ヤコブソン』氏支配人たり

黑龍江省より毎年百十萬布度位の貨物を取扱ふ其の中六〇パーセントは「エゲルシエリド」四〇パーセントは大連へ出す

建物　木造建　一棟　十五露坪

使用人四人は（年給金三〇〇〇元）なり

三、シゼリスキー商會　東支八區の入江附近に位置す

四、廣信升倉庫

八區第八一號　面積　九九三坪

營業科目　穀物倉庫業

一〇〇	豐泰億油房	一二二、一二三
一〇一	裕大油房	九七、九八
一〇二	公來油房	二〇
一〇三	同聚祥油房	二一
一〇四	恒順和油房	一九
一〇五	恒隆德油房	一一八
一〇六	義昌信油房	一一六
一〇七	成發祥油房	一一三
一〇八	久大油房	九九
一〇九	元孚油房	一七
一一〇	豐盛恒油房	一一九
一一一	東濟油房	一〇八
一一二	聚盛泰油房	一一二
一一三	永和盛油房	一二四
一一四	同發隆油房	一一〇
G、	官墟倉庫穀類乾燥業其他	
一一五	吉黒権運總倉	一四、一五
一一六	黏龍江官鹽專銷處	八二、八三、八四
一一七	華俄公司	三〇、三一
一一八	東阜號貨棧	一〇五

第二章　穀物倉庫業

一、ソーキン株式會社

八區第二二一―二三號　　面積一、六五六露坪

營業科目　　穀物倉庫業

最近一ケ年間に同商會買付穀物發送せられたるもの約五百萬布度に達せり、中一九二一年度大豆二百五十萬布度、小麥三萬五千布度、一九二二年度大豆二百二十萬布度、小麥三百万布度、會社は一九二三年度に於ては支那官憲が穀物

六一	歸商業銀行	一二八

C、野天倉庫業

六二	滿鐵	二七、二八
六三	滿鐵	一、三、五、六、七、八、九、一四、一五
六四	竹内商會	一〇、一六
六五	和昌泰煤廠	一一、一三
六六	小野撫順煤廠	二、四
六七	梅田煤廠	一八、二六
六八	蘇域炭	二三
六九	天源東糧廠	二、三
七〇	源興成糧廠	三九
七一	增盛德石廠	三八
七二	慶源泰石廠	三七、三七A
七三	三順興石廠	三四
七四	鴻順石廠	三三
七五	双興隆石廠	三一、三二
七六	義大森林木廠	三五
七七	ピリユシリエンコ	二九
七八	天成福糧廠	二八
七九	ポドロイスキ	一九、二〇
八〇	カザコン	二七
八一	クミタ	一八
八二	日隆洋行	二三
八三	永振昌	一二
八四	アブロユイエフスキイ	四

D、各種兼營倉庫

八五	永來號糧廠	二一
八六	裕勝厚糧廠	一三一
八七	裕興公貨棧	一〇五
八八	永升利西棧	一〇七
八九	萬泰店	一二七
九〇	洪盛永貨廠	一一五
九一	義興元	一二八
九二	興順北貨廠	三

E、製粉業

九三	ソスキン、カンパニー	一〇、一一、一二
九四	滿州製粉	八
九五	東興火磨	八六
九六	萬福廣火磨	八五
九七	廣信火磨	一三二
九八	義昌泰火磨	一一七

F、製油業

九九	裕源油房	一三五

二一	天合盛糧廠	一三〇
二二	廣信升倉庫	一二六
二三	益發號糧廠	一二一
二四	同大號糧廠	一
二五	源聚豐糧廠	一九
二六	福源慶糧廠	一八、一九
二七	永和源糧廠	一八A
二八	天豐東糧廠	一七
二九	德發源	一六、二〇
三〇	會成興糧廠	一九
三一	天盛東糧廠	一九A
三二	大順昌糧廠	九
三三	世合棧糧廠	一
三四	永衡豐糧廠	一二〇
三五	源興義糧廠	三
三六	益發長糧廠	九
三七	永發盛糧廠	八
三八	西成興糧廠	二二
三九	吉祥倉庫	二六
四〇	成發東糧廠	三二
四一	世合棧糧廠	三

B、一般倉庫業

四二	鈴木商店哈爾賓出張所	一〇二
四三	三井洋行倉庫	九三、九四、九五
四四	北滿倉庫	二〇、二一A
四五	小寺洋行倉庫	一二七
四六	山口運輸公司	五
四七	ルスキーキタイスキ、トランスポルトヌイカンパニー	五
四八	トパズ(信冒洋行)	四、四A
四九	寶興利糧廠	一三
五〇	興業銀行倉庫	一〇五
五一	德增順糧廠	二二
五二	厚德宏糧廠	二九
五三	德增福貨廠	一〇五
五四	大有恒貨廠	二
五五	天興福帳房	三
五六	ユーシイ	一〇五
五七	廣和成貨棧	一〇六
五八	葛發億	一一五
五九	功同合	一二九
六〇	慶勝泉	一二八

第二編　第八區に於ける民間側の諸企業

當第八區民間側の諸企業に關する調査資料は直接各企業者より提出せられたるもので其儘營業所に於て整理したるものにして、此等諸企業の業蹟に關する數字中には鐵道及船舶により輸送されたる貨物のみならず、實際此等の企業者等が取扱ひたる純商業的のものをも含めり。

第一章　第八區民間企業者一覽表

A、倉庫業（イ）糧棧業

番號	商號	八區借地番地
一	ソースキン	二三、二三A
二	ワッサルド	七
三	シビリスカヤ	五
四	廣信升倉庫	八一
五	廣勝棧糧棧	二四
六	廣信升倉庫	二五
七	東三省銀行倉庫	九六
八	永衡通倉庫	一三三
九	濱江交易所倉庫	一〇九
一〇	交通銀行倉庫	一二四、一二五

番號	商號	八區借地番地
一一	濱昌盛糧廠	六
一二	同	二
一三	和順泰廠	一
一四	永衡倉庫	六、七
一五	東盛益糧廠	三A
一六	永和長糧棧	四A
一七	裕德厚糧棧	二九
一八	華豐信糧棧	四
一九	德聚銀號糧廠	一五
二〇	西盛棧糧廠	一三〇

黒色　古麻袋入の一等中の二號大豆

赤色　新麻袋入の貳等大豆

綠色　古麻袋入の壹等中の一號大豆

黒色　古麻袋入の貳等中の二號大豆

混合保管大豆の發送並に保管の引受け其れに關連する左の營業、大豆の等級の選定、麻袋詰檢斤山分け、其の他の作業に任ず、尙ほ混合保管大豆の復證券の低當を以つて資金貸出並に其の他の仲買信託販賣をも兼業す。

本店　哈爾賓「ウチストコワヤ」街一一號地

出張所　東支八區、江岸積替驛

安達驛、滿溝驛、對靑山驛、陶賴照驛、三叉河驛、双域堡驛、寬域子驛

一九二二年十月廿日混保開始以來一九二三年三月廿日迄に東支八區に於ける取扱高は三、六〇〇、〇〇〇布度にして合計各驛の分を合して開業以來千五百萬布度以上を取扱へり。

附　南滿行混保大豆等級燒印は左の如し（一九二二年の收獲）

(47)　赤色　新麻袋入の特等大豆

(47)　綠色　古麻袋入の特等中のの一號大豆

(47)　黑色　古麻袋入の特等中の二號大豆

[47]　赤色　新麻袋入の一等大豆

[47]　綠色　古麻袋入の一等中の一號大豆

茶は磚茶、紅茶、綠茶等にして（A.Ш）印を商標とし箱の數字商標を（0）（1）（5）（9）（44）（25）（22）等とす

二、「アジヤトスコエートルゴウオエ」會社

哈爾賓支店（支配人宅）プルフルヌイ大街二七二號地
ギーリンスカヤ及チチハルスカヤ角、電話四四、九八

一九二二年に哈爾賓燒業所荷捌倉庫に保管茶を搬入せるが目下在庫高は八八、九七〇布度あり主として菓子用茶、磚茶、紅茶、綠茶にして商標（A.K.П KO）印なり。

三、『クラエフ』商會

哈爾賓埠頭區ボレワヤ、ウチヤストコワヤ街角　電話三三八四

哈爾賓營業所の荷捌倉庫に搬入せるもの一三、一八〇布度に達し磚茶、紅茶を主とし（Цейлонский）弗1010　印なり

第五節　總海關

位置　東支八區　電話四九七二

分館としては『ペルワルカ』の附近に船舶事務所、傳家甸郵船碼頭に貨物の檢査所あり。

第六節　大豆混合保管

東支鐵道混保代辦業「ウエ、フ、コワルスキイ」

營業科目

營業所長室	四三二五
同自宅	二〇五三
同次長室	二三五三
第八區運輸事務所出張所	三四二五
第八區事務所長室	三六二五
第八區技術事務所	三九二五
顧客部	三七二五
積換埠頭事務所	二三八〇
冬期船舶繋留所	二七四七

第四節　茶荷捌倉庫

第八區に於ける茶の保管改裝に關する業務は特約により左記三商會をして取扱はしむ

一、『アングローシベリヤン』株式會社

哈爾賓支店―埠頭區コオンナヤ街十六號地　電話四六―八〇

一九二二年に東支哈爾賓營業所運輸倉庫に入庫せる當會社に屬する茶の數量は二一、二二五個―總重量一〇七、〇〇〇布度にして現在庫高八二、七二五布度あり。

二十四、貨物を一部分づゝ引渡す場合には當營業所に到着する全貨物に就いて規定されたる一布度毎の料金の外又檢斤をなしたる場合には其料金をも除きて其荷物の引渡したる部分に對して四十哥

二十五、東支船舶又は民間個人又は事業團體の汽船により松花江より鐵道に又逆に鐵道より其れを河船に積換へをなすに對しては各航行期毎に規定さるゝ特定賃金表による、但し上記料金は協定の下に又商業部の許可あれば値下けさるゝことを得

全協定は擧げて表に別にあり夫れは當營業所が料金に反して値下げしたる場合に辨明の文書となるものである

各驛より東支各驛へ又烏鐵滿鐵への直通貨物、輸送に關する運賃其の他の質問は左記宛照會せば無料にて取扱はる

貨物に關する問合はせは

哈爾賓埠頭區、東支鐵道運輸事務所若しくは哈爾賓第八區運輸事務所

電報に關する問合はせは

哈爾賓 KMK

手紙による問合はせは

哈爾賓埠頭區、東支鐵道營業所宛

電話による問合はせは

營業所及埠頭區運輸事務所出張所

註、貨物の價格の評價は荷主又は哈爾賓の相場による

十五、貨物又は小包の荷造又は積付け同じく風袋の修理、貨物の毀損防止に對する處置に對しては實費を申受く

十六、荷主に貨物の到着通告又は運賃支拂の反信通知料は一通に對し二〇哥を申受く

十七、穀物に對し借出し資金の融通に關しては東支各驛適用の規定を用ふ

十八、所有主委託により當營業所にある貨物の賣却に對する手數料は協定による、但し賣却價格の二パーセント以下とす

十九、哈爾賓支那稅關手續遂行に對する手數料

A、貨車扱貨物の稅金に關しては嚮きに協定せる契約に從ひ契約の一貨車毎に一金留を申受く（第三條註第一）

B、布度によつて徵稅する貨物は一布度につき$\frac{1}{2}$哥

二十、貨物發送又は引渡取扱の際積込、積卸、撿斤に對しては一般規定に從ひ月規定金額表による

二十一、荷受人より徵收したる金員を顧客に送附し又は顧客の依賴により行ひたる郵便電信其の他の經費に對しては此れ等の經費の實費を申受く

二十二、顧客の委託に依り荷受人より徵收したる各種の取立金額に對しては取立金一留に對し〇、二哥を然し新樣な一委託對しては二十哥以上のこと

二十三、發送人の委託により各荷物を受取人間に分配することに對し撿斤に對する規定標準による、料金とは別に荷物一個につき廿五哥を徵す

ふ

十三、保督

A、旅客手、小荷物又は客車便貨物の保管料は一晝夜一個に付き三哥、但し全部に付一五哥以上を徵す（受領證を出す）

B、至急便又は普通便の各種貨物（穀物、鹽、堆積貨物を除く）の保管料は最初の十五日間は布度に付 3/4 哥、第二期の十五日間は一、二五哥、第三、第四期の十五間は一、五哥、第五、第六期の十五日間は布度に付二哥を徵す

C、穀物、鹽、堆積貨物（石炭、石材等）の保管料は十五日毎に布度に付〇、一五哥を徵す（累進なし）

D、暖房裝置の家屋内に各種貨物の保管料は最初の卅日間は布度四哥を徵し一ヶ月を增す毎に二哥を之に加ふ

E、鐵道便にて發送する條件の下に保管を託せし貨物の發送前迄の保管料は（B）（C）に據る

註、一、穀物に就いては二ヶ月を經過したる分の保管料と只荷主の落度により此の期限後に至るも荷物發送が行はれざりし場合にのみ徵收さる

二、東支營業倉庫に到着する引渡貨物は全て鐵道各停車場と等しく二晝夜間の保管料は無料とす

十四、倉荷證券に基き當營業所の保管に委ねられたる貨物の義務的火災保險に對しては卅晝夜毎に貨物價格の 1/4 パーセントを徵す

卅晝夜に滿たぬものも卅晝夜と見做す

る類集に摘要せざる貨物）布度に付一哥然し一發送に付廿五哥以上を徵す

五、普通扱の一車扱運賃に據る各貨物を營業所に倉入して發送せんとする取扱ひは（第六ニ記載せる貨物を除き小麥粉も同樣に之を摘要せず）

布度に付〇、七五哥とし貨物の實際受付又は交付されたる類量に對して計算して徵す

六、穀物並に其他の雜穀同樣に大豆、豆粕、製油、製粉用の穀物（小麥粉、粒麥を除く）は布度〇、五哥を貨物の量によりて計算して徵す

七、營業所倉庫に保管の貨物にして倉荷證券に基き發送する手數料

發送貨物の實際數量に對して布度〇、一哥を徵す

八、營業所倉庫に在る堆積貨物（石炭、石材等）を引渡し又は發送する手數料は預入貨物の量を計算の上布度〇、二哥を徵す

九、A、家畜並に牛馬驢馬等の發送引渡の手數料は一頭に付き一〇哥とす

B、羊、山羊、小馬、小牛、豚等の如き小家畜は一頭三哥、但し一差立每に五十哥以上とす

十、A、貨物並に小荷物の貴重品扱の表記に對する手數料は其物品に對し規定しある標準による

B、保險に關しては保險會社の特定賃率に據る

十一、運賃取立の代辨に對する手數料は東支各驛用のものに據る

十二、東支營業所倉庫より受取者の倉庫へ又は發送者倉庫より營業所への小荷物及貨物の積替へ協定によりて支拂

一、A、旅客切符發賣手數料（一枚ニ付キ）

一等切符	二〇哥
二等切符	一五哥
三等切符	一〇哥
四等切符	五哥

B、急行又は坐席券の發賣又は部屋貸券に對する手數料はAに準ず
乘車切符發賣手數料は此の外とす

注　意

（一）營業所にて旅客が買求めたる切符を返戾して金錢と取換へんとするには（只該切符は未だ使用せざるもの）旅客は營業所の責任者晝間勸務時中にこの旨屆出ずべし（但し列車の發車以前なるべし）

（二）鋏を入れざる切符の買戾に關しては營業所は其の切符の手數料丈けは收得として返濟せず

二、旅客小荷物又は客車便貨物を發送取扱に對し然し哈爾賓停車場から又同所までの配達を爲す料金は一布度に付五哥但し一個差立荷物に對し五十哥以上とす（受領證を交附す）（布度未滿は一布度と見做す）

三、至急便扱として營業所の倉庫に預入れ發送せんする貨物の取扱ひ引受は一布度一、二五哥然し發送荷物一個に付廿五哥以上の手數料を徵す

四、普通便扱として小口扱の貨物を營業所の倉庫に預入れ發送せんとせば（但シ運賃規定第一條の註第一二記載せ

三、河筋へ發送すべき石油其他可燃性危險貨物の船積は獨り冬營所に於て之を取扱ふ、同所以外の哈爾賓市區城内の松花江右岸に於て之を行ふことは稅關規則に依り禁止せらる

四、河筋より到着せる貨物にして未だ通關手續のを經ざるものは同上到着の日より十五日以内に關稅を支拂ふものに限り陸揚及保管を引受く、即ち右貨物に對しては前記期間内に關稅を支拂ふて之を引取るか又は鐵道により更に前途へ向け發送の手續を爲すべきものとす、關稅の支拂は出庫の際に於て要求せらる

五、本出張所關係料金左の如し

(イ)穀物は前記の免除期間(十日)後十五日毎に一布度に對し保管料〇、一五哥(金留)

一般雜貨に對しては布度〇、七五哥を最初期の十五日間に、次に一、二五哥を第二期間を申受く

(ロ)江岸積替費(來多又は我克より)

穀物一布度より〇、六五哥

雜貨一布度より協定に準じて徵す

(ハ)委託手數料貨物一布度より〇、五哥割にて徵す、埠頭區、東支八區、江岸積替驛には亞鉛板葺の倉庫の貨物保管用のもの數多あり。

第三節　諸料金

營業所に於て徵收する諸料金率は左の如し。

二、貨　物　（イ）鐵道に依る發着貨物の引受引渡に關する一切の務
（ロ）特約により上海向け直通連絡貨物の引受
（ハ）私宅商店倉庫より鐵道停車場へ差立る貨物の運送及び反對に到着貨物、小荷物の配達
三、倉庫業　證券附到着貨物の倉庫入れ保管並に各驛發送貨物の保管
肉類の保管倉庫として亞鉛板葺倉庫、石疊倉庫の設備ありて尙荷捌貨物の保管に任ず、荷主との特約に據りて保管貨物全部荷捌き前に其一部分を出庫するを得
四、貨物代辨　保管貨物又は到着貨物の賣卸
哈爾賓營業所と全く同樣の營業及委託を經營遂行しつゝある滿州里驛營業所に對する委託の受附
五、稅關手續代辨　鐵道及河筋に依る發着貨物の露支稅關に對する通關手續の代辨を行ふ

第二節　沿岸積替所及冬營所出張所

本所に於ては河ものに關する依託保管、輸送及稅關に關する左の事項を取扱ふ。
一、松花江に依る各種貨物の發送引受竝に到着貨物の引渡
二、松花江上に於て東支船舶部竝に其他個人船舶に依り發送すべき貨物の保管、但し埠頭積替場及び冬營所に荷揚されたる穀類は十日間保管料を要せず

次に東支沿線地帶に於ける製粉業の發達は鐵道が拓殖事業に着手すると同時に始まりしものにして、而かも鐵道開設の當初は米國麥粉が莫大に滿洲に輸入されて居たりしが、現今は少くとも北滿に於ては米國粉の輸入全然其跡を斷ち反つて小麥のみならず他の各種の穀粉の南滿及支那に輸出さるゝもの莫大なる額に達するに至れり、而して輸出穀粉中の著しき割合が當八區及ひ傅家甸に在る製粉工場の產出に係はる。

歐洲大戰は當時發展の機運に向ひつゝありし第八區の商業的活動及ひ種々なる計畫の實行を抑壓遲延せしめたるが其理由は鐵道が商業上の貨物輸送を引受くるの余裕無く專ら直通軍事輸送に向つて己の輸轉業務を集中せしに因る、この結果は哈爾賓八區地方のみならず、黑龍省に於ても多數の滯貨を來し、之れが整理を見たるは漸く一九二一年にして、第八區同年の積出は一九二二年に比し幾分優れるの現象を呈せり。

更らに一九二二年以來、一般經濟界の影響及ひ東支鐵道の運賃並に營業方針の改革により哈爾賓營業所第八區は發着貨物の取扱に於て再び其全能力を發揮し本書添附の圖表に示すが如き數字に迄到達するに至れり。

第二章　東支鐵道哈爾賓營業所營業一般

第一節　埠頭區並に第八區出張所

事務所は埠頭區コンメルチエスカヤ街アルチレリスカヤ街角第五一號にあり、埠頭區並に第八區に關する左の事務を取扱ふ。

一、旅　客　自線各驛行、南滿、日本及支那主要驛行直通連絡切符の發賣

ら る可きこととなり、蓋し世界及露西亞の政治的事情が此の事業の實現を遷延せしめて居たるのみ、而して目下可なり大規模に實行されつゝある「大豆の等級別共同保管」は穀類積込機建設に至る豫備的段楷に外ならず、而して之れが爲め穀物(大豆)の仕上げ方法が現在よりも更に良く農家自身によつて行はる可く更に其の結果此等物産の世界に於ける市價を引上ぐべきは豫想に難からず、故に混合保管は前日の如き穀物倉庫業に惡影響を與ふるものと云ふには非ず。

次ぎに輸入貨物を取扱ふ倉庫に關して述へんに、抑も本事業の規模及び其業績は單に其れに投下された固定及び流通資本多少に比例するのみにあらず、營業地域の廣狹及び生產地より消費地に至る間の輸送に携はる人間の多少に依つて大に其趣を異にし來る。

今吾が第八區に於ける運輸及倉庫業を見るに其大多數は支那人の營む所にしてその內には直接自已機關により營口より傅家甸まで貨物を運送するものあるも彼等の大多數は營口、大連、天津、上海、寬城子其の他廣大なる地域に亘りて散在する多數の運輸業者の相互協同によつて營業しつゝあり、例へば上海の倉庫業者『ブラゴエーシチエンスク』へ荷物の輸送を引受くる時は前揭各地の倉庫業者が各區間の輸送に當るものとす。

斯の如き協同營業の成立は主として相互間の信用に基き且つ貨主と運輸業者間の關係も亦齊しく信用による所にして只だ必要の場合に於てのみ委任の形式に依り輸送を受諾す、支那人の運輸、委託、倉庫業が非常に發展せるは斯る事情に基く。

第八區の製油工場に就いて言へば、豆油に對する外國の需要日に月に盛大になれる結果、八區の以前の大豆倉庫の多數は今日製油工場に變化せり。

四、第八區事業の發達による諸設備竝に運輸事務所の新築。

現今第八區は東支鐵道沿線中の主要貨物驛の一にして鐵道全出廻り貨物數の四分の一——三分の一を占めオストロモフ長官の言を借りて云へば東支鐵道の『心臟』たり。

第八區内の地面は既に全部貸附又は使用濟となり、鐵道線路と傳家甸の間寸尺の餘地なきに至れり。

第八區に於ける貨物事務並に一切の行政的經濟的事務は第八區營業所に統一せらる。

終りに第八區に於ける企業の主要なるものゝ内部的進化の概畧を述べるのも徒爾ならず。

倉庫は初め集積したる荷物の保管丈のみなりしが其の後次第に其の業務を擴張し經濟上原始的なる本質を變更して遂には單なる倉庫業に止まらず穀物の賣買を行ひ、殆んど取引所の觀を呈する委託賣買人となれり。

一九一四年の戰爭以前は輸出高は大抵自已の仕入人(プローカー)を使用し而してこの仕入人が又其の下に支那人の仲介者(跑經紀)を有せり。

斯くて穀物(大豆)は直接市場に於て購買され、停車場に運ばれたりしが、現在は輸出商は多く糧棧を通じて仕入を爲し直接市場又は農家より購入することなし、只だ極く稀に鐵道驛より遠隔の地に於て自已の仕入人を經て行はれることとあるのみ。

但松花江沿岸各埠頭に於てのみは今尚ほ各自の仕入人を通じて行ふ。

故に今日於ては穀類倉庫は穀物取引の中心點たるなり。

然れ共茲に注意せざる可からざるは久しき以前より計畫せられ居る穀類積込機(エレワートル)が幾多個別の倉庫に代りて近く建設せ

發達は人工的に非ずして自然的のものなれば自然に委するも彼等は穀物倉庫は素より其の他種々の商業的企業を建設するならむ、然る時は東支鐵道は彼等によりてその勢力を殺がれ利益を害せらるゝに至らん、宜しく今に於て東支の附屬地內に直接貨物及び倉庫の吸引を策すべきなりと。

其後年月の經過により後者の意見が更に肯綮に當り居たることを知るに至れり。

急速なる輸出業の發達によつて第八區の地面は何等の計畫を樹つる暇もなく關係貨主の言ふが儘に貸下げられ從つて引込線も亦同樣全く無秩序的に敷設せられし爲め果して後に至り第八區は貨車の配給及引揚に多大の困難を來すに至れり。

是に於て當事者等は線路の附け換へ及び土地貸下げ方法改正の必要を認め既に鐵道管理局最高幹部の諒解を得つゝありしが偶々一九一七年露國に革命起り、之が爲め鐵道は非常なる破壞と甚だしき經濟財政の困難に陷り遂に第八區經營に關する必要の計畫の實現を見ずして止めり。

一九二〇年オストロウーモフ技師東支鐵道管理局長として就任するに及び玆に初めて決定的東支第八區の改正を見るに至る、其要項左の如し。

一、東支第八區の全區域は商業部員及技術員と共に營業課より分離して商業部哈爾賓代理所(畧稱哈爾賓營業所)に移管され權利義務は其儘繼承し其名も商業部哈爾賓代理所(畧稱同じ)第八區と改稱せられたり。

二、引込線は押込式なりしを凡べて環狀式に改められ同時に其れに關聯して若干の地域は切斷せられたり。

三、入江の浚渫及び改修。

之れは一九一〇年と一九一四年に於ける洪水の際線路及び積卸場に於ける建物等に浸水した爲め失敗に終り、後之れを漸次松花江の左岸より右岸鐵橋の上流に移すの止むなきに至れり。

右岸鐵橋の下流は其の當時尙ほ沼澤地なりしを以て一九一二年先づ同所を埋立及び入江の築造に着し一九一五年に至り遂に之れを完成し、此時より右岸に於て貨物の積卸を爲し得るに至れり、其の能力汽船、『バルジ』、戎克より即ち入江內二ケ所と松花江岸に於て一ケ所、即ち同時に三ケ所にて積換作業を行ふことを得。

哈爾賓に集注する穀物の取引及び黑龍江省內近接地方住民に供給せらる可き諸雜貨の集散は人口の增加と共に次第に增大せり。

此の間に在りて第八區は舟行の便ある河岸を有し且つ哈、傅兩大市街間に於て鐵道線路の尤も輻輳せる地點に位置するを以て兩者間の利害を連絡する商業上の環たるは勿論更に當地方全體の動脈たる東支鐵道と農業地方たる黑龍江省との利害を結ぶより重要なる連絡となるに至れり。

斯の如く第八區はあらゆる階級の荷主現に商工業者等の總てにとりて非常に便利且つ有利の位置にあるより第八區の發達は更に目醒ましく今や全く彼等の企業場と化し東支鐵道も又これ續出する新設企業に對し嬉んで引込線の布設を爲せり。

然るに東支第八區の地面を個人貨物の倉庫として貸與することに就ては當地の言論界に非常なる物議を釀したる所にして例へば「ノーツヤ。ジイジニ」紙の如きは東支鐵道第八區貸下契約を以て傅家甸市街の發展を助け從つて哈爾賓市街方面の商業收入を減退せしむるものなりと云ひ、又「ハルビンスキー、ウエストニック」紙も同様の論調にて傅家甸の

の埠頭を水淺になりたるため穀物倉庫は之を他の地に移轉するの必要に迫られたり。
是れより先き既に一九〇八年に於て第八區に二個所の穀物乾燥工場が線路に沿つて設置せられあり、その一は即ち『ペールカ』にして後一九一〇年に『カサトキン』（現今の『ソースキン』會社）商會の手に移り製粉工場に改造せられ、今一つは『ナタンゾーナ』と稱し現今は『ルースコ、キタイスキー』公司となり居れり。
一九〇六年黑龍省官鹽倉庫（吉黑榷運總局）は東支より八區の一劃に土地の貸下を受けて之に陣取りしを初めとし、次いで糧食倉庫附近の地面も穀物又は地の各種貨物の倉庫用として割當てられたり。
一九一一年―一九一二年頃より倉庫糧棧等にして第八區（松花江鐵橋の下流）へ移轉せんとするの傾向漸次歷然し來りしが此の徑路には上述の外尙ほ幾多他の事情の伏在するものあり。
例へば日露戰爭後（一九〇六年――七年及其れ以降）間もなく松花江右岸（松花江鐵橋の下流）鐵道附屬地の向側に支那市街傅家甸が發達し初めたること。
傅家甸は初め勞働者、小商人及び哈爾賓に於て小手工業に從事せる者等が原始的の矮屋、土小屋等に假居しつゝありしが時と共に次第に增大し、歐洲戰爭の頃には既に大廈高樓を以て成る殷盛なる支那街を現ずるに至れり。
傅家甸は更に水運及鐵道の恩惠に兩浴して殖民の便利となり速に發達し延いて鐵道連絡の業務を促し特に東支八區の發達上に影響を與へたり。
又東支八區史上に於て重大なる意義を有する第二分子としては貨物積卸場（ペレワールカ）あり。
東支鐵道は河筋より到着したる貨物を更に鐵道に積換へて發送するに便せん爲め鐵橋下流に貨物積卸場（ペレワールカ）を建設したが

斯くて滿洲の大豆は遂に日本のみならず確實に西部歐羅巴にまで輸出を見るに至れり、但し當初は現品の儘輸出され外國の工場に於て油及豆粕に製出せられしは云ふまでもなし、之れが爲め原位者と云はず新移民と云はず今は齊しく大豆栽培に從事し啻に地方の需要を充たすのみならず年々莫大の輸出を見るに至る。

一九〇五年――一九〇六年西部線『滿溝』驛 宋』驛『安達』驛等に於ける穀物の出廻りが哀れなる狀態なりしものか今や各數百萬布度の輸出を爲すに至れり。

移民の流入に伴ひ耕地次第に擴大し今や一方は娘子山、札蘭屯の各驛附近等興安嶺の麓に達し、他方就中松花江沿岸廣大の沃地が支那移民に依つて最初に利用開墾せられたるは當然の事なり。

其結果哈爾賓は東支行政の中心たるのみならず商業及運輸の中心地、就中吉黑兩省より產出する輸出大豆の集散地となるに至れり。

抑も東支鐵道の運賃は當初專ら露西亞本國より來る貨物を保護するにありて俄かに當地方經濟上の要求に急に適合するを得ざりしを以て茲に鐵道と相並んで馬車輸送現出せり。

此の馬車輸送に依るとは貨物は必ずしも哈爾賓を經由せず、直接營口又は大連へ向け輸送さるゝを得るが、獨り船舶によつて松花江を上下する穀物は如何なる場合にも必ず哈爾賓を經由せざるべからず。

されば此等の穀物を汽船、戎克、『バルジ』より鐵道へ積換ふる爲めには勿論のこと或は又馬車輸送貨物の一時的中繼保管の爲めにも茲に倉庫設置の必要あるに至れり。

當初倉庫は松花江鐵道橋の上流なる哈爾賓埠頭區に設けられしが、其後同地は製粉場等の占有する所となり、又前面

遊獵地に過ぎざりき。

然るに一九〇四年日露戰爭に際し露國野戰兵站部は哈爾賓市街中に倉庫建築に適當な土地を發見するを得ざりし爲め之を現今の第八區內に建築し、之に通ずる二つの線路を布設せり、現今「糧食」及「食鹽」線と稱するは即ち之なり。其の後哈爾賓中央驛に於ける貨車整理用線路大擴張に際し同驛方面に餘地なきため再び當八區內に列車整理區一名西區を設くるに至れり、(略現今物產輸出會社の占むる地域なり)日露戰爭後滿洲より露國軍隊の撤退するや兵站倉庫は一部分を取掉し一部分は之を後黑龍江軍團の護境軍の管轄に移し之を糧食倉庫と云へり。而して東支鐵道の運輸縮少により上記兵站倉庫への線路の內一本を殘し他は總て之を閉鎖せり。

露軍が撤退し東支鐵道が愈々平和的活動に移つるや同鐵道の營業振は其第一日よりして全然一變せり。それは從來同鐵道が主として露西亞より來る運輸貨物の直通輸送に當るのみなりしを同時以後更らに當地方の經濟狀況及必要に依つて起る貨物の輸送に相當多大の力を盡さんとせることとなり。

東支鐵道の建設と同時特に日露戰役の終了後(一九〇六)南支那の人口稠密なる地方より北滿洲の荒野を目指して殺到する移民が非常に增加し、農業に適當せる黑龍江省の廣大なる原野は漸次此等移民に依つて開發さるゝことゝなつた東支鐵道は其の創立當時にあつては僅かの穀物の過剩を營口向けで發送し居たるのみにて豆油の如き僅かに當地方住民の食料を充たすに過ぎず毫も輸出の余剩を有せざりき。只だ稍著しき最初の輸出品は日本行豆粕にして(彼地にて耕地の肥料とするにあり)其の後英人及一部獨人の研究により豆油が工業用其の他種々の方面に利用せられ得ること明かとなり、漸く彼等の注目を惹くに至れり。

東支鐵道哈爾賓營業所第八區案内

東支鐵道哈爾賓營業所編
滿鐵哈爾賓事務所調査課 堀内竹二郎譯

第一編 鐵道側の諸機關

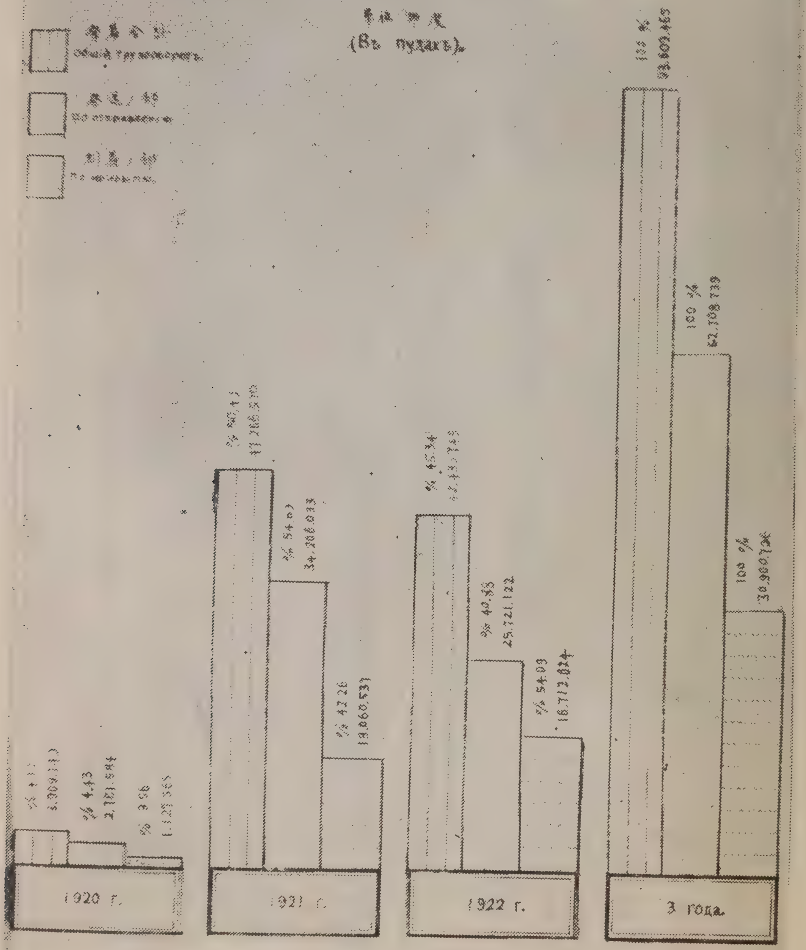
第一章 東支鐵道哈爾賓營業所八區地方の沿革

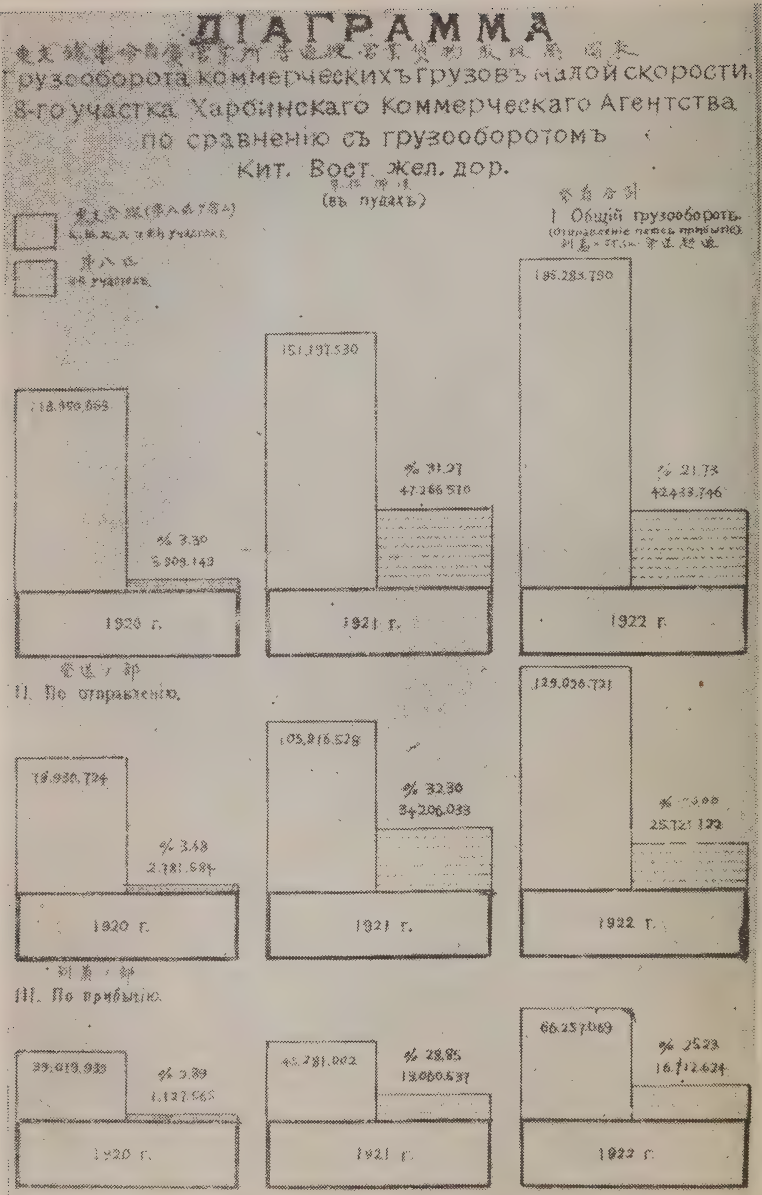
哈爾賓營業所第八區(又は「モストワヤ」邑)は松花江鐵橋の下流に沿ひ埠頭區と傅家甸との中間に於て東支幹線に對し直角して位置す。

而して其の直角の一邊の長さ八三〇サーゼン、他邊三四二サーゼン、總面積二八三、八六〇平方サーゼンを算す。其の境界北端は松花江に達し西は東支幹線に接し南は埠頭區より傅家甸に向つて東支幹線を横切る「モストワヤ」街に東は傅家甸の陽溝を以て境す。此等の區域は總て貨物倉庫、糧棧、油房、製粉工場其の他商工企業のために偏く占有せられ之等のために引込まれたる線路の延長一六、三八五、七九サーゼン即ち三一露里三八五、七九サーゼンに達せり今を去ること餘り遠からざる時代に於て此の第八區は現今の傅家甸市街と共に沿澤荒野であつて僅かに哈爾賓人士の

ДІАГРАММА

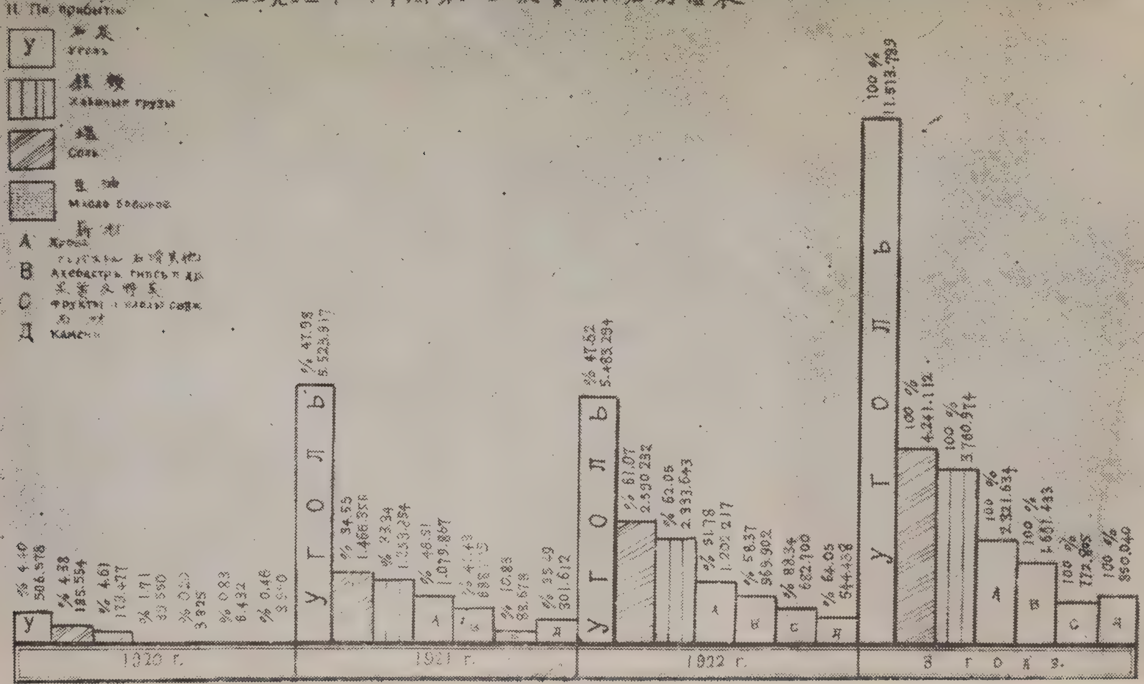
грузооборота коммерческихъ грузовъ малой скорости Восьмого участка Харбинскаго Коммерческаго Агентства по годамъ 1920, 1921 и 1922.




ДІАГРАММА
Грузооборота коммерческихъ грузовъ малой скорости 8-го участка Харбинскаго Коммерческаго Агентства по сравненію съ грузооборотомъ Кит. Вост. жел. дор.
(въ пудахъ)
I. Общій грузооборотъ.
(Отправленіе плюсъ прибытіе).
151.197.530
195.283.790
% 3.30
5.808.143
% 31.27
47.266.570
% 21.73
42.433.746
1920 г.
1921 г.
1922 г.
II. По отправленію.
105.916.528
129.026.721
% 3.48
2.781.584
% 32.30
34.206.033
1920 г.
1921 г.
1922 г.
III. По прибытію.
66.257.069
% 28.85
13.060.537
% 25.23
16.712.624
1920 г.
1921 г.
1922 г.

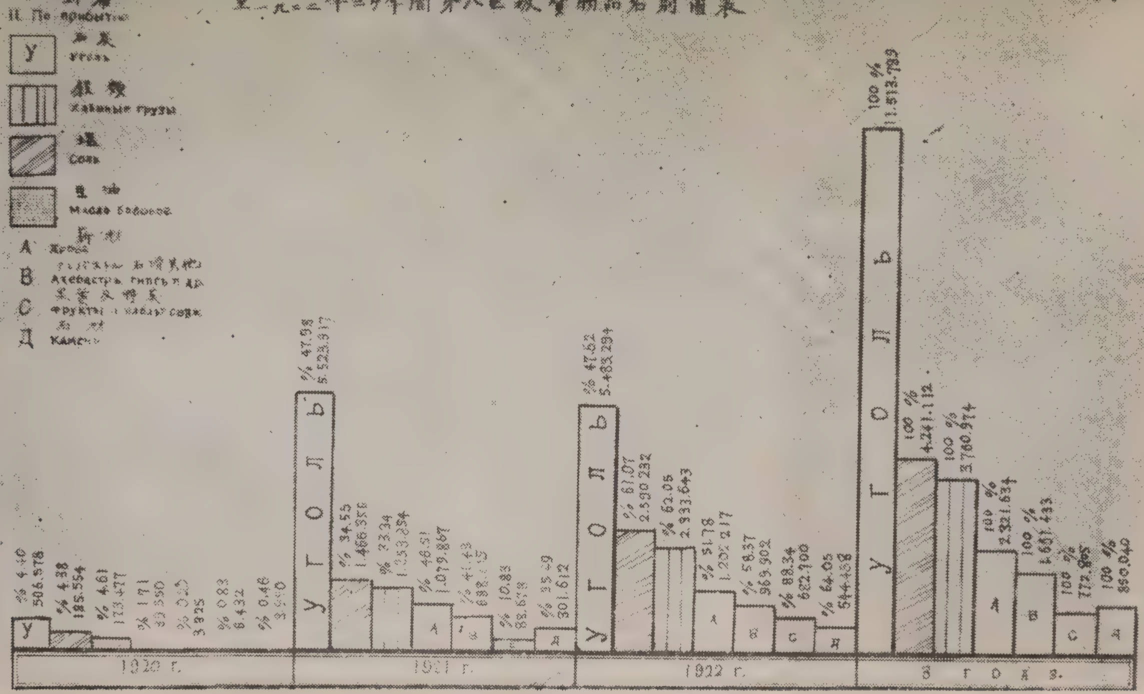
ДІАГРАММА[a)]

Грузооборотъ 8-го участка въ теченіи 3-хъ лѣтъ—1920, 1921, и 1922,-по главнѣйшимъ грузамъ.



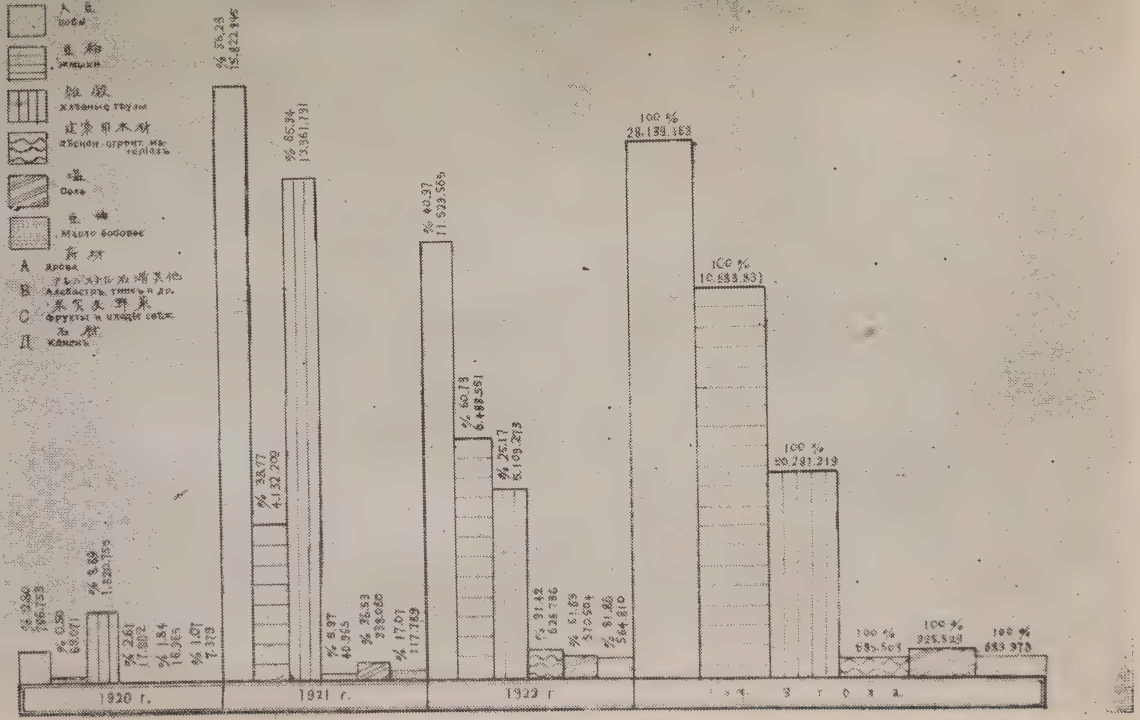
ДІАГРАММА[a])

Грузооборотъ 8-го участка въ теченіи 3-хъ лѣтъ—1920, 1921, и 1922,—по главнѣйшимъ грузамъ.



ДІАГРАММА [*)]

Грузооборотъ 8-го участка въ теченіи 3-хъ лѣтъ—1920, 1921, и 1922,—по главнѣйшимъ грузамъ.



第三章　一般倉庫業　四四
第四章　野天倉庫業　五六
第五章　各種兼營業倉庫　六五
第六章　製粉業　六九
第七章　製油業　七六
第八章　官鹽倉庫、穀類乾燥工場及精米所　九一

附錄

第一表　自一九二〇至一九二三年第八區に於ける普通便扱商業貨物取扱高の東支全線に對する比較表
第二表　自九一二二至九一〇二年各年別發着貨物數量表
第三表　全　上　重要品名別表及圖表
第四表　全　三年間主要貨物總計表及圖表
第五　哈爾賓營業所第八區地圖

東支鐵道 哈爾賓營業所第八區案内

目次

哈爾賓營業所第八區取扱營業貨物數量圖表　（計四）

第一編　鐵道側の諸機關

第一章　沿革　一

第二章　哈爾賓營業所營業一般　九

第一節　埠頭區竝第八區出張所　九

第二節　江岸積替所及冬營場出張所　一〇

第三節　諸料金　一一

第四節　茶荷捌倉庫　一七

第五節　中央海關　一八

第六節　コワリスキイ氏の大豆混合保管代辨　一八

第二編　民間側の諸企業

第一章　八區に於ける民間企業者名一覽　二一

第二章　糧棧　二四

序

東支鐵道は本年七月十一日を以て建設工事に着手以來滿二十五年に達したので同日哈爾賓に於て盛大なる紀念祭を行ふたが、尙ほ此外紀念事業として本社東省鐵路沿革史を初めとし其他社內各部課所より種々の刊行物を出させた、本八區案內は即ちその內の一つである。

從來八區に關する調査は所々に散見されるが八區全体として比較的纒つたものは先づ本書に如くは無い、依つて之を翻譯に附し頒布する所以である。

八區に於ける各企業の內容に就いては本課別に計を立てゝ其の他地方の各種企業と共に詳細調査中であるから追つて高覽に供することを得るであろう。

大正十二年十月一日

哈爾賓事務所調査課長　山內勝雄

東支鐵道哈爾賓第八區案內正誤表

頁	行	誤	正
本文一	十二	沿澤	沼澤
三	二	原位者	原住者
同	十二	依るとは貨物は	依る貨物は
同	十六	其發同地は	其の後同地は
四	一	埠頭を	埠頭の
同	十三	速に	急速に
五	二	上流	下流
同	十二	又これ續出する	又これ等續出する
九	二	麥紛	麥粉
同	三	穀紛	穀粉
二十一	十	シビリスカヤ	シビリスキー
二十五	十三	シゼリスキー	シビリスキー

HE
3290
C6A53
1923

LIBRARY
APR 1 1976
UNIVERSITY OF TORONTO

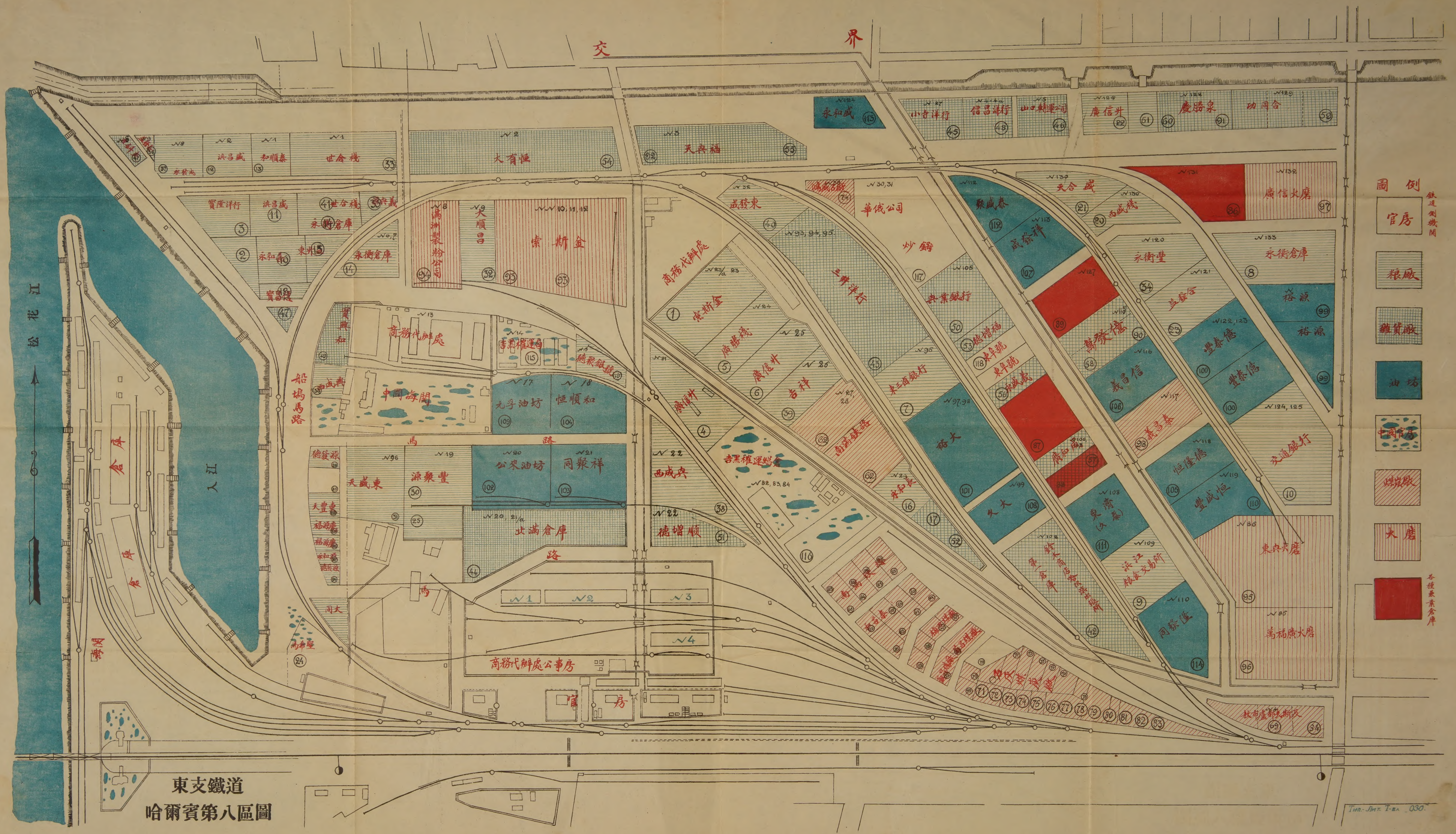
哈調資料第六號

東支鐵道 哈爾賓營業所第八區案內

南滿洲鐵道株式會社

哈爾賓事務所調査課

三田


東支鐵道
哈爾賓第八區圖
交
界
松花江
入江
倉庫
船塢馬路
中國海關
商務代辦處
商務代辦處公事房
官
房
大有恒
天興福
索斯金
滿洲製粉公司
大順昌
小寺洋行
信昌洋行
慶勝泉
廣信火磨
永衡倉庫
華俄公司
三井洋行
興業銀行
東三省銀行
交通銀行
東興火磨
萬福廣火磨
裕大
裕源
同聚祥
公來油坊
北滿倉庫
源聚豐
天盛東
恒順和
德增順
豐泰德
恒隆德
豐盛恒
義昌信
濱江糧食交易所
天合盛
世合棧
圖例
官房
糧廠
雜貨廠
油坊
火磨

UTL AT DOWNSVIEW
D RANGE BAY SHLF POS ITEM C
39 05 09 17 10 006 7